

Ⅲ部 基調報告 新羅郡域の遺跡

「朝霞市の遺跡」

講師： 照 林 敏 郎

(朝霞市教育委員会)

朝霞市

1. 朝霞市の地形と遺跡

朝霞市は、洪積台地（武蔵野台地）と沖積低地（荒川低地）の境に市域を有し、北側を志木市、南側を和光市、西側を新座市と接する位置に所在する。

朝霞市の地形は、市の北東部を北から南へ流れる荒川と北西から南東に向かって流れる新河岸川によって形成された荒川低地と武蔵野台地末端部に大きく分けられる。また、市のほぼ中心部を南西から北東方向に流れ、東へ向きを変え新河岸川に流れ込む黒目川によって台地部分は概ね東西に二分され、和光市との境にも南西から北東方向へ流れ新河岸川へと至る越戸川が位置する。そして、各河川に沿って小河川が形成した開析谷が樹枝状に入り組んだ形で複雑な地形を呈している。

多くの遺跡は、湧水が得やすい各河川沿いや開析谷沿いの台地上や黒目川や越戸川沿いの一部に形成されている河岸段丘上に位置しており、約3万年前の旧石器時代から近世にわたる69遺跡が現在把握されている。

2. 朝霞市の奈良・平安時代遺跡

奈良時代前の状況 奈良時代について述べる前に前時代である古墳時代の朝霞市の状況について簡単に触れてみたいと思う。

朝霞市内の古墳時代において特筆すべき点は、黒目川が荒川低地に流れ込む部分の右岸に位置する根岸古墳群と左岸に位置する内間木古墳群の存在があげられる。根岸古墳群は4世紀～6世紀の古墳の存在が確認されており、内間木古墳群は6世紀～7世紀（最近の調査で5世紀代の可能性がある古墳跡も確認されている。）の古墳の存在が確認されている。また、各古墳群を形成した集落も各々の地域に存在する。現段階では周辺地域で古墳群は確認されていないことから、古墳時代においては中心的な役割を担った地域であったと考えられる。

そして、奈良時代の直前にあたる7世紀代の古墳及び集落の状況は以下のとおりである。

古墳は、黒目川左岸の内間木古墳群において、7世紀中頃の二重周濠を有する方墳である八塚古墳（現八塚遺跡。朝霞市遺跡分布図遺跡番号10、以下番号のみ記す。）の存在が確認されており、7世紀代の可能性がある埴輪を有しない円墳の跡も確認されている。また、和光市との境に近い根岸台3丁目地区に位置する根岸通第三遺跡(58)の谷に面した南斜面に、午房地山横穴墓群と呼ばれる7世紀代と考えられている横穴墓がかつて存在していた。

集落は、内間木古墳群が位置する黒目川左岸に7世紀前半の中道・中道下遺跡(14)、7世紀中頃～後半の大瀬戸遺跡(3)、7世紀後半のハケタ・中通遺跡(11)に集落が形成されている状況が見られる。

現段階での7世紀代の状況をまとめてみると、古墳及び集落共に存在する黒目川左岸地域が朝霞市内における当該期の中心的地域であったことが推定される。また、午房地山横穴墓群を造った人々の集落が未確認なため、今後の調査によって7世紀代の様相に変化が見られ

る可能性があり、後代の奈良時代の様相を考えていくうえでも重要な要素と成り得ると思われる。

朝霞の奈良時代の様相 現在、朝霞市内で奈良時代の遺構が検出されているのは5遺跡で、黒目川左岸に中道・中道下遺跡(14)、西久保・宮山遺跡(15)、南割・西久保遺跡(18)、泉水山・富士谷遺跡(20)の4遺跡、右岸に向山遺跡(47)の1遺跡になる。遺跡の分布状況を見ると黒目川左岸に遺跡が多く見られるが、各調査地点で検出される遺構の数は多くなく現段階では住居跡等が密集した集落の様相は見られない。

中道・中道下遺跡において奈良時代の遺構が検出されている地域は南西側で、隣接する西久保・宮山遺跡では北東部で検出されていることから、県道和光志木線を挟んで対峙するこの地域が奈良時代の集落跡と想定される。両遺跡からは住居跡、中道・中道下遺跡からは掘立柱建物跡も検出されている。

南割・西久保遺跡は、JR武蔵野線北朝霞駅・東武東上線朝霞台駅の南側に位置し、朝霞市内で最初に奈良時代の住居跡が検出された遺跡である。現段階では、住居跡1軒のみの検出であるが、「長」と思われる文字が墨書された須恵器坏形土器と土師器坏形土器各1点が出土している。

さらに上流域に位置する泉水山・富士谷遺跡では3地点から各1軒の住居跡が検出されているのみであるが、各地点の配置を見ると黒目川方向から西へ入り込む谷（現在、本田技術研究所のテストコースが位置する。）を囲むように住居跡が配置されることが想定される。

現在、黒目川右岸側で唯一奈良時代の遺構が検出されている向山遺跡では、竈内より盤状坏が出土した住居跡が1軒検出されているが、縄文時代から平安時代までの住居跡が600軒以上検出されている同遺跡で奈良時代の住居跡が1軒のみとは考え難いので、調査内容の再検証が必要と思われる。

以上のように、朝霞市内の奈良時代の遺構の検出例は極めて限定的であることから、現段階で当時の様相を想定するには資料が少ない状況であるが、集落として考えた場合、中道・中道下遺跡と西久保・宮山遺跡に亘る集落と南割・西久保遺跡、泉水山・富士谷遺跡、向山遺跡において営まれた集落の4集落は少なくとも存在していたと言えよう。

朝霞の平安時代の様相 現在、朝霞市内では20遺跡で平安時代(8世紀末～10世紀)の遺構が確認されている。

黒目川左岸側の台地上及び段丘上には、大山第一遺跡(1)、大瀬戸遺跡(3)、人部・峡遺跡(13)、中道・中道下遺跡(14)、西久保・宮山遺跡(15)、北割・西原遺跡(17)、南割・西久保遺跡(18)、泉水山・富士谷遺跡(20)の8遺跡が位置している。大山第一遺跡と大瀬戸遺跡については新河岸川を臨む台地上に立地し、他の遺跡については黒目川を臨む台地・段丘上に立地している。

また、黒目川右岸側の台地上及び段丘上には、黒目川を臨む北浦第四遺跡(37)、行人塚・金子塚下遺跡(43)、諏訪原・中道遺跡(44)、中道・岡台遺跡(45)、新河岸川を臨む向山遺跡(47)、宮台・宮原遺跡(54)、宮台遺跡(55)、河川を臨む崖線からやや奥まった範囲に位置する榎戸・諏訪原遺跡(49)、宮原・塚越遺跡(53)、馬堀遺跡(63)と遺構が確認されている位置が先の3遺跡と同様の様相を呈する向原・中笹原遺跡(64)、唯一越戸川を臨む台地

上に立地する稲荷山・郷戸遺跡（60）の12遺跡が位置する。

平安時代の遺構・遺物が検出している20遺跡の多くは人々が生活を営んでいた一般的な集落と考えられる。各遺跡を集落として認識するにあたっては、考える方向によっていろいろな面が見られることから、集落を中心に考えていきたい。

全ての遺跡で複数の住居跡が検出されているわけではないので、一部の遺跡では集落の展開について不明な部分がある。しかしながら、調査結果を隣接する遺跡やより広い範囲で概観してみると、基本的には各河川に面した台地上・段丘上で集落は営まれていると考えられるが、黒目川右岸側の台地上では、各河川の方角から入り込んだ谷の奥部に面した集落や崖線から離れた位置に展開する集落を想定することができる。各河川に面した集落や谷に面した集落はある程度の範囲に複数の住居跡が確認される傾向にあるが、一部の河川から離れた範囲に展開する集落は個々の住居跡が離れる傾向があり広範囲に住居が散在している状況が見られる。諏訪原・中道遺跡は崖線に近い位置に展開するが、隣接する榎戸・諏訪原遺跡と共に東武東上線を挟んで接する範囲において先述の傾向が見られ、9世紀中頃以降、特に9世紀後半から10世紀前半にかけて集落が営まれていたと考えられる。

次に、検出された遺構・遺物から見ていくと、一般的な集落とは異なった様相が認められる集落がいくつか存在する。

宮原・塚越遺跡においては、第1地点で朝霞市内では唯一となる四面廂掘立柱建物跡が住居跡と共に検出され、緑釉陶器蓋形土器や灰釉陶器皿形土器が出土している。四面廂掘立柱建物跡と出土している遺物等から集落内に建てられた仏堂が想定されている。また、同地点近接地（宮台・宮原遺跡の隣接部分も含め）の発掘調査でも数軒の住居跡が検出され、試掘調査でも掘立柱建物跡の柱穴と思われる規則的に配置された遺構も確認されている。以上のことから、宮原・塚越遺跡を中心とする集落は、集落内に仏堂を有する宗教（仏教）色の強い集落ではないかと考えられる。

また、宮原・塚越遺跡と同様に、集落内に仏堂を有する宗教（仏教）色の強い集落と考えられる遺跡としては、向山遺跡があげられる。多くの住居跡と掘立柱建物跡が検出され、掘立柱建物跡の一部には規則的な配置を見ることができ、特徴的な遺物としては緑釉陶器、灰釉陶器、円面硯、須恵器壺形土器（壺G）、石製丸軛等の遺物も出土している。さらに、朝霞市内で初めて確認された9世紀中頃の墓坑の存在があげられる。墓坑は、長辺約2.8m、短辺約1.9m、深さ約2.2mの竪穴を掘削し、短辺側の壁面に幅約1.4m、高さ約0.8m、奥行き約2.3mの遺体を安置するための横穴を掘削した形で、長軸断面の形状がL字状を呈している。横穴の入口には板による閉塞施設の存在が、釘の打たれた板片の出土と板を嵌めた痕跡から想定され、熟年の成人男子と思われる骨と完形の須恵器環形土器5点（内4点に現段階では判別不明の同様の墨書あり）、一部に木製の鞘が残る刀子が内部より出土している。底面に木炭が敷かれとても丁寧に埋葬されていた印象がある。

その他に、特徴的な遺物を出土した遺跡として馬堀遺跡をあげることができる。検出された遺構は、住居跡・掘立柱建物跡（廂付もあり）・溝跡が検出されているが、各遺構の配置は密というよりは散在傾向にある。遺物は、須恵器・土師器・灰釉陶器等の土器、鉄製品（刀子・鋸・紡錘車等）等の他、銅製の丸軛・巡方、皇朝十二銭の「隆平永寶」〔発行年：延暦

15（796）年〕が出土している。朝霞市内で初めて出土した皇朝十二銭と腰帯につける銅製の飾り金具である丸軛・巡方といった一般的な集落での出土例は少ないと思われる遺物が確認されており注目される。

上記の遺跡については、集落として一般的な集落とは異なった様相を見せる遺跡について述べたが、遺構の検出状況から集落とは違った様相が見られる遺跡として、稲荷山・郷戸遺跡をあげることができる。稲荷山・郷戸遺跡は、武蔵野台地末端部の東に荒川・越戸川を臨む小支谷に囲まれた範囲に立地する。現在までに11地点の調査が行われ、5地点で平安時代の遺構が検出されている。第1地点では掘立柱建物4棟・溝跡1条、第3地点では住居跡1軒、第5・6地点では掘立柱建物1棟、第10地点では掘立柱建物跡4棟・溝跡1条、第11地点では溝跡1条が検出されている。今回取り上げるのは、遺跡の中央から西端の範囲で調査された、第1・5・6・10・11地点で、東端の第3地点については除外する。

第1地点の調査結果を検討したところ、部分的に調査された第1号溝と各掘立柱建物の柱筋が、ほぼ平行もしくは直交していることから各遺構が意図的に配置されているのではないかとということと、第1・2号掘立柱建物が桁行4間、梁間2間という市内で検出例が無かった規模であること等から役所等の公的な機関の跡ではないかと推定していた。

そして、平成29年度に第1地点の北側隣接地を第10地点として発掘調査する機会を得た結果、第1地点第1号溝跡と一連と考えられる溝跡（第1号溝、ほぼ南北方向に掘削）と第1地点第1・2号掘立柱建物跡と同規模で同様の柱の配置を見る第4号掘立柱建物跡、建物の桁行が溝跡と平行し桁行4間、梁間2間と推定される第2号掘立柱建物跡、桁行2間、梁間2間の長方形で長軸を溝跡と平行に配置する第5号掘立柱建物跡、第4号掘立柱建物跡の建て替えと考えられる第3号掘立柱建物跡（桁行3間、梁間2間に変更のうえ各柱穴の規模も縮小され若干軸線の違いが見られる。）が検出され、役所等の公的な機関の跡ではないかという推定を補完するかたちとなった。

さらに、同じく平成29年度の第1・10地点から東へ約180mの地点で第11地点として発掘調査が行われた。検出された住居跡は全て古墳時代前期で平安時代の住居跡は確認されなかったが、北西から南東方向へ掘削される第1号溝跡が確認され、断面形状や確認面での規模等ほぼ第10地点第1号溝跡と同様であった。なお、第1号溝跡の南東側延長線上の住宅地の試掘調査において一連と思われる溝跡を確認している。平安時代の掘立柱建物跡については、当地点の調査範囲内では確認できなかった。

また、第11地点から南側約80mの地点で発掘調査が行われた第5・6地点において検出された第1号掘立柱建物跡は、第1・10地点と同様に桁行4間、梁間2間の掘立柱建物でほぼ同規模を有している。建物の軸線方向については、第1・10地点の掘立柱建物跡、第1・11地点の溝跡とも異なった状況を示している。

今回紹介した2条の溝跡については、地形から考えるとそれぞれが周囲に位置する谷の間を結んでいるのではないかと推定される。第1・10地点の溝跡は、南側は越戸川方向から北西に深く入り込む谷の方向に伸び、北側は荒川方向から西に向かって入り込み南側に折れて伸びる深い谷の最深部方向に向かっている。第11地点の溝跡は、北西・南東方向共に荒川方向から浅く入り込む谷の最深部同士を結んでいるように見受けられる。現段階で2条の溝の北

側が東西方向に伸びる溝によって結ばれているかは不明であるが、溝跡が区画溝として機能していたと推定した場合、可能性はあるのではないかと考える。

上記の5地点の調査結果から、現段階で考えられる当該施設の範囲 だが、東限は第11地点検出の溝跡、西限は第1・10地点検出の溝跡、北限は各溝跡の北側に位置する谷の最深部を結んだ線、南限は南側谷の崖線に囲まれた範囲が妥当なのではないかと思われる。

建物については、東と西の端において調査が進んでいることから、西側と東側の一部で検出されている状況である。間の空間は現状ほとんど開発されておらず畑地であることから、掘削等により大きく破壊されていない可能性が高いと考えられ、西側の建物群の東側にも同様の状況で遺存している可能性が高いと思われる。

以上、稲荷山・郷戸遺跡の役所等の公的な機関の跡と考えられる範囲について概観したが、調査範囲が限定的ということもあるが、同範囲内では現在のところ平安時代の住居跡については1軒も検出されていな状況もあることも付け加えておきたい。また、検出された遺構の所産時期であるが、掘立柱建物については、一部の柱穴より平安時代の土器と思われる小片が若干出土する程度であることから明確な時期は不明である。溝跡については、第10地点第1号溝跡中層からの馬歯の出土が注目されるが、平安時代の須恵器・土師器と思われる破片の出土が見られるものの小片が多く、第11地点第1号溝跡上層から出土した9世紀後半と思われる須恵器坏形土器が現状では唯一の資料と思われる。最新の調査については未整理であることから今後作業の進捗状況により新たな資料が得られることを期待したい。

奈良時代の遺跡

最後に、朝霞市の奈良・平安時代の遺跡について、最新の調査結果にも触れながら概観してきたが、今回改めて見てみると今まで朝霞市内で行われた発掘調査の約1／4の地点で奈良・平安時代の遺構が検出されていることが分かった。これを多いと見るか少ないと見るかは分からないが、未整理の調査も含まれることから地道に作業を進め、新羅郡の時代を含めた朝霞の奈良・平安時代の様子をより明らかにしていきたいと思う。

朝霞市

参考文献

- 野澤 均『平沢・原畑遺跡第2地点 向原・中笹原遺跡第1地点 榎戸・諏訪原遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集 朝霞市教育委員会 平成5年3月31日
- 野澤 均『宮台・宮原遺跡第2地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第4集 朝霞市教育委員会 平成6年3月31日
- 野澤 均『原畑・越戸遺跡第3地点 ハケタ・中通遺跡第2地点 北浦第三遺跡第2地点 西久保・宮山遺跡第5地点 向山遺跡第2地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集 朝霞市教育委員会 平成7年3月31日
- 照林敏郎『諏訪原・中道遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第8集 朝霞市教育委員会 平成8年3月29日
- 渡辺邦仁 照林敏郎 江原 順『中道・中道下遺跡第2地点 弁財上・弁財谷遺跡第2地点 宮原・塚越遺跡第2地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第9集 朝霞市教育委員会 平成9年3月31日
- 照林敏郎『向山遺跡第3・4・5・6地点発掘調査報告書 第一分冊 序編』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第

- 14集 朝霞市教育委員会 平成12年3月31日

- 齋藤欣延『中道・中道下遺跡第3地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第17集 朝霞市教育委員会 平成13年3月30日
- 齋藤欣延『中道・岡台遺跡第5地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第21集 朝霞市教育委員会 平成14年3月29日
- 野澤 均 佐々木藤雄 今井千恵 大橋 生 小久顕治『泉水山・富士谷遺跡第79地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第23集 朝霞市教育委員会 平成18年4月18日
- 野澤 均 照林敏郎 佐々木藤雄 小野麻人『泉水山・富士谷遺跡第81地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第28集 朝霞市教育委員会 平成18年4月18日
- 野澤 均 照林敏郎 林 邦雄 今井千恵『人部・峡遺跡第4地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第29集 朝霞市教育委員会 平成21年3月31日

- 野澤 均 斉藤 純『宮台・宮原遺跡第6・9・10地点発掘調査報告書 一旧高橋家住宅保存修理工事に伴う埋蔵文化財調査一』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第31集 朝霞市教育委員会 平成21年3月31日
- 斉藤 純 照林敏郎『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報1 宮台遺跡第9・10地点 宮台・宮原遺跡第5・8地点 大瀬戸遺跡第12・13地点 稲荷山・郷戸第9地点 西久保・宮山遺跡第14地点』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第33集 朝霞市教育委員会 平成22年3月26日
- 照林敏郎 林 邦雄 小野麻人『馬堀遺跡第23・24地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第36集 朝霞市教育委員会 平成21年3月31日
- 斉藤 純 野澤 均 照林敏郎『大山第一遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第37集 朝霞市教育委員会 平成24年3月31日
- 照林敏郎 林 邦雄『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報4 古屋敷遺跡第1地点 行人塚・金子塚下遺跡第2・3地点』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第40集 朝霞市教育委員会 平成26年3月28日

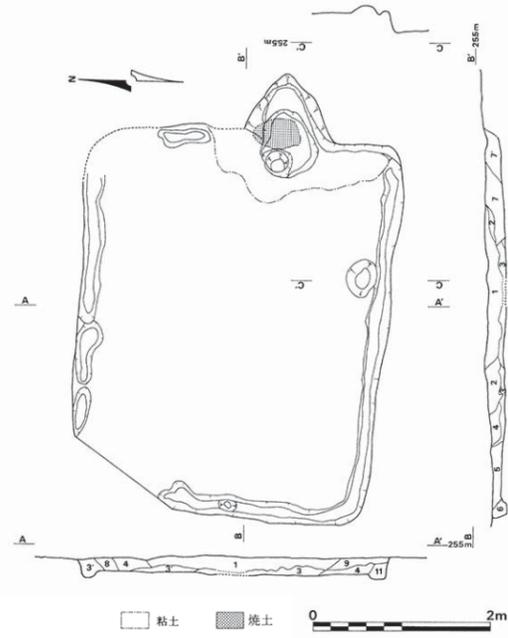
- 照林敏郎 斉藤 純『西久保・宮山遺跡第7・8地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第43集 朝霞市教育委員会 平成27年3月27日
- 安田脩一『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報7 人部・峡遺跡第9地点 宮台・宮原遺跡第13地点 新屋敷遺跡第9地点』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書45集 朝霞市教育委員会 平成28年3月29日
- 照林敏郎 斉藤 純『北割・西原遺跡第10・11地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第46集 朝霞市教育委員会 平成29年3月30日

- 広島六郎太『朝霞の文化財 一第二西久保遺跡発掘報告一』第四集 朝霞市教育委員会 昭和48年3月1日
- 石原敬司 肥沼正和『向山遺跡 稲荷山遺跡 塚越遺跡 一奈良・平安時代の朝霞I一』朝霞市文化財調査報告書第18集 朝霞市教育委員会・朝霞市遺跡調査会 平成8年3月25日
- 朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査団『埼玉県朝霞市泉水山・下ノ原遺跡Ⅱ 一1981年度発掘調査報告書一第二分冊』朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査会 平成15年3月31日
- 西井幸雄 瀧瀬芳之『宮台・宮原遺跡 県営住宅朝霞根岸台団地建設地内埋蔵文化財発掘調査報告』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第318集 埼玉県・財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 平成18年3月10日
- 西井幸雄 渡辺清志『中道・中道下遺跡 都市計画道路岡通線（朝霞市浜崎地内）埋蔵文化財発掘調査報告』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第371集 埼玉県・財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 平成22年8月31日

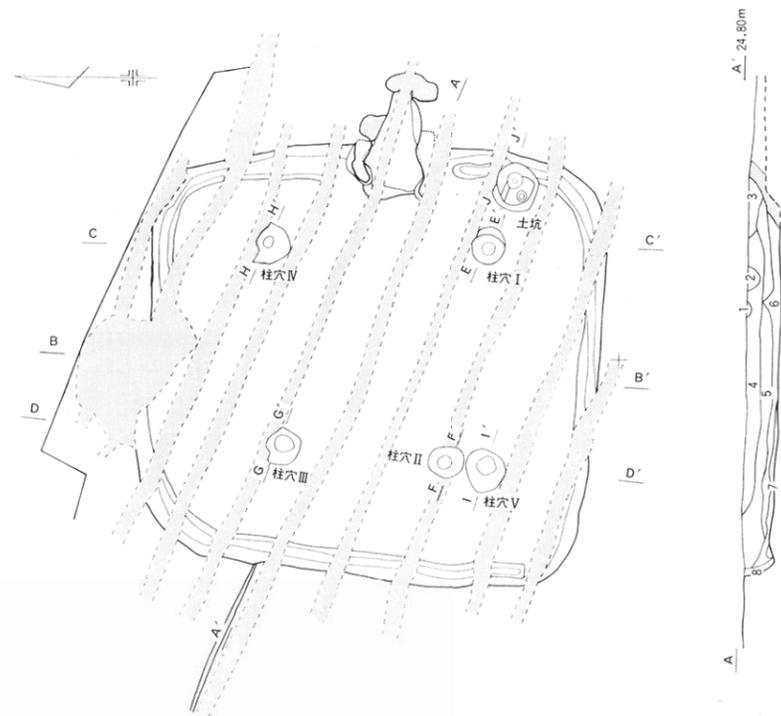
朝霞市奈良・平安時代遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	検出遺構	出土遺物	参考文献	備考
1	大山第一遺跡第1地点	宮戸三丁目	住居跡2(平安)	須惠器杯・土師器壺	『大山第一遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第37集	旧薬師堂山遺跡
2	大山第一遺跡第2地点	宮戸三丁目	住居跡1(平安)		『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成14年度』	
3	大瀬戸遺跡第17地点	宮戸三丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成26・27年度』	
4	人部・峡遺跡第4地点	浜崎四丁目	住居跡1(9世紀後半)	須惠器杯・須惠器壺・土師器壺・土製支脚・台石・不明鉄製品	『人部・峡遺跡第4地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第29集	
5	中道・中道下遺跡第1地点	浜崎四丁目	住居跡1(平安)・掘立柱建物跡1(平安)		『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成5年度』	
6	中道・中道下遺跡第2地点	浜崎四丁目	住居跡1(10世紀前半)	須惠器杯・須惠器碗・土師器壺・刀子	『中道・中道下遺跡第2地点 併附上・併付谷遺跡第2地点 宮原・塚越遺跡第2地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第9集	
7	中道・中道下遺跡第3地点	浜崎四丁目	住居跡1(9世紀後半)・溝1(10～14世紀前半)・階段状遺構(10～14世紀前半)	須惠器杯・須惠器高台杯・須惠器長頸瓶・灰釉陶器高台付碗・磁石・椀形漆・有穴球状石製品(中の可能性有り)	『中道・中道下遺跡第3地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第17集	
8	中道・中道下遺跡第5地点	浜崎四丁目	溝1(10～14世紀前半)	須惠器杯・須惠器蓋・須惠器高台付壺・土師器杯・土師器壺・鉄鏃・刃物	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成14年度』	
9	中道・中道下遺跡第7地点	浜崎四丁目	住居跡5(8世紀末～9世紀前半)		『朝霞市 中道・中道下遺跡 都市計画道路岡通線(朝霞市浜崎地内)埋蔵文化財発掘調査報告』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第371集	
10	中道・中道下遺跡第10地点	浜崎四丁目	住居跡1(平安)・掘立柱建物跡2～3(奈良～平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成25年度』	
11	中道・中道下遺跡第11地点	浜崎四丁目	住居跡1(平安)・溝1(10～14世紀前半)	須惠器杯・須惠器蓋・須惠器高台付杯・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成8年度』	
12	西久保・宮山遺跡第6地点	浜崎三丁目	住居跡1(平安)	須惠器杯・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成9年度』	
13	西久保・宮山遺跡第7地点	浜崎三丁目	住居跡2(平安)	須惠器杯・須惠器蓋・須惠器長頸壺・土師器壺・刀子	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成15年度』	
14	西久保・宮山遺跡第13地点	浜崎三丁目	住居跡5(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成25年度』	
15	西久保・宮山遺跡第18地点	浜崎三丁目	住居跡2(平安)	須惠器・土師器		
16	西久保・宮山遺跡第19地点	浜崎三丁目	住居跡2(平安)	須惠器・土師器		
17	西久保・宮山遺跡第21地点	浜崎三丁目	住居跡2(平安)	須惠器・土師器・鉄製品		
18	北割・西原遺跡第10地点	浜崎一丁目	住居跡2(9世紀前半)	須惠器杯・土師器壺・刀子・鉄滓・土鏃	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成9年度』 『北割・西原遺跡第10・11地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第46集	
19	北割・西原遺跡第11地点	浜崎一丁目	住居跡1(9世紀)	土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成12年度』 『北割・西原遺跡第10・11地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第46集	
20	南割・西久保遺跡第1地点	東弁財一・二丁目	住居跡1(8世紀第3四半期)	須惠器杯(「長」の墨書1点)・須惠器碗・土師器杯(「長」の墨書1点)・土師器壺・土師器台付壺	『朝霞の文化財第四集 一 第二西久保遺跡発掘報告一』 田代雄介「朝霞市南割・西久保遺跡出土の土師器杯について」『あらかわ』第5号	旧第二西久保遺跡
21	南割・西久保遺跡第3地点	東弁財二丁目	住居跡4(平安)	須惠器・土師器・土鏃	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 昭和63年度』	旧西久保遺跡第7地点
22	南割・西久保遺跡第4地点	東弁財二丁目	掘立柱建物跡1(平安)		『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成2年度』	旧西久保遺跡第8地点
23	泉水山・富士谷遺跡第4地点	泉水三丁目	住居跡2(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財発掘調査報告書第23集』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第23集	旧泉水山遺跡第4地点
24	泉水山・富士谷遺跡第16地点	泉水三丁目	住居跡1(奈良)	須惠器杯・須惠器長頸壺・須惠器壺・土師器壺・土製支脚・種子(桃)	『埼玉県朝霞市 泉水山・下/原遺跡Ⅱ 1年度発掘調査報告一 第二分冊』	旧下の原遺跡第5地点
25	泉水山・富士谷遺跡第53地点	泉水三丁目	住居跡4(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成2年度』	旧泉水山遺跡第44地点
26	泉水山・富士谷遺跡第79地点	泉水三丁目	住居跡1(8世紀後半)	須惠器杯・土師器壺	『泉水山・富士谷遺跡第79地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第23集	
27	泉水山・富士谷遺跡第81地点	泉水三丁目	住居跡1(8世紀中葉～後葉)	須惠器杯・須惠器壺・土師器壺	『泉水山・富士谷遺跡第81地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第28集	
28	北浦第四遺跡	溝沼一丁目		須惠器杯・土師器壺		
29	行人塚・金子塚下遺跡第2地点	溝沼五丁目		須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成2年度』 『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第40集	旧№94遺跡第2地点
30	行人塚・金子塚下遺跡第5地点	本町一丁目	住居跡6(9～10世紀)	須惠器杯・須惠器平瓶・須惠器長頸壺・須惠器壺・須惠器杯底部転用紡錘車・土師器壺・土製支脚・刀子・鏃・火打鏃・鉄製紡錘車	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成24年度』	
31	諏訪原・中道遺跡第1地点	本町一丁目	住居跡3(9世紀中頃)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器蓋・須惠器壺・土師器壺・刀子・石製紡錘車	『諏訪原・中道遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第8集	
32	中道・岡台遺跡第2地点	岡三丁目	住居跡2(平安)	須惠器杯・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成4年度』	旧№16遺跡第2地点
33	中道・岡台遺跡第4地点	岡三丁目	掘立柱建物跡(平安)		『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成8年度』	掘立柱建物跡を奈良・平安時代としたのは筆者の所見である。
34	中道・岡台遺跡第5地点	岡三丁目	住居跡1(9世紀中頃)	須惠器杯・土師器壺・瓦塔(近世の土坑に流れ込み)	『中道・岡台遺跡第5地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第21集 照林敏郎「朝霞市 中道・岡台遺跡第5地点出土の瓦当について」『あらかわ』第6号	
35	向山遺跡第2地点	岡三丁目	住居跡1(10世紀)	須惠器杯・須惠器長頸壺・須惠器壺	『原畑・越戸第二遺跡第3地点 ハケタ・中道遺跡第2地点 北浦第三遺跡第2地点 西久保・宮山遺跡第5地点 向山遺跡第2地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集	
36	向山遺跡第3地点	岡三丁目	住居跡(9～10世紀)・掘立柱建物跡(9～10世紀)・墓坑1(9世紀中頃)	須惠器・土師器・灰釉陶器・平瓦・鉄製品・人骨等	『向山遺跡第3・4・5・6地点発掘調査報告書 第1分冊《序編》』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集 『埋文さいたま』第23号	詳細は整理中のため不明
37	向山遺跡第4地点	岡三丁目	住居跡(8～10世紀)・掘立柱建物跡(9～10世紀)	須惠器・土師器・灰釉陶器・緑釉陶器・平瓦・鉄製品等	『向山遺跡第3・4・5・6地点発掘調査報告書 第1分冊《序編》』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集	詳細は整理中のため不明 8世紀代の住居跡1軒検出(盛状坏出土)、他にも存在する可能性有
38	向山遺跡第6地点	岡三丁目	住居跡(平安)	須惠器・土師器・鉄製品	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成7年度』 『向山遺跡第3・4・5・6地点発掘調査報告書 第1分冊《序編》』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集	
39	向山遺跡第7地点	岡三丁目	住居跡6(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成10年度』	
40	榎戸・諏訪原遺跡第1地点	岡一丁目	住居跡1(9世紀中頃)	須惠器杯・土師器壺	『平沢・原畑遺跡第2地点 向原・中苅原遺跡第1地点 榎戸・諏訪原遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集	旧№16遺跡
41	榎戸・諏訪原遺跡第2地点	岡一丁目	住居跡1(9世紀)	須惠器杯・須惠器高台付杯・須惠器壺・須惠器底部転用紡錘車・土師器壺・刀子・鏃・土製支脚		
42	榎戸・諏訪原遺跡第3地点	岡一丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器		
43	榎戸・諏訪原遺跡第4地点	岡一丁目	住居跡1(10世紀)	須惠器杯・土師器壺・鉄製品	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成24年度』	
44	榎戸・諏訪原遺跡第5地点	岡一丁目	住居跡2(平安)	須惠器杯・土師器壺・刀子・鉄鏃・鉄製紡錘車	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成26・27年度』	

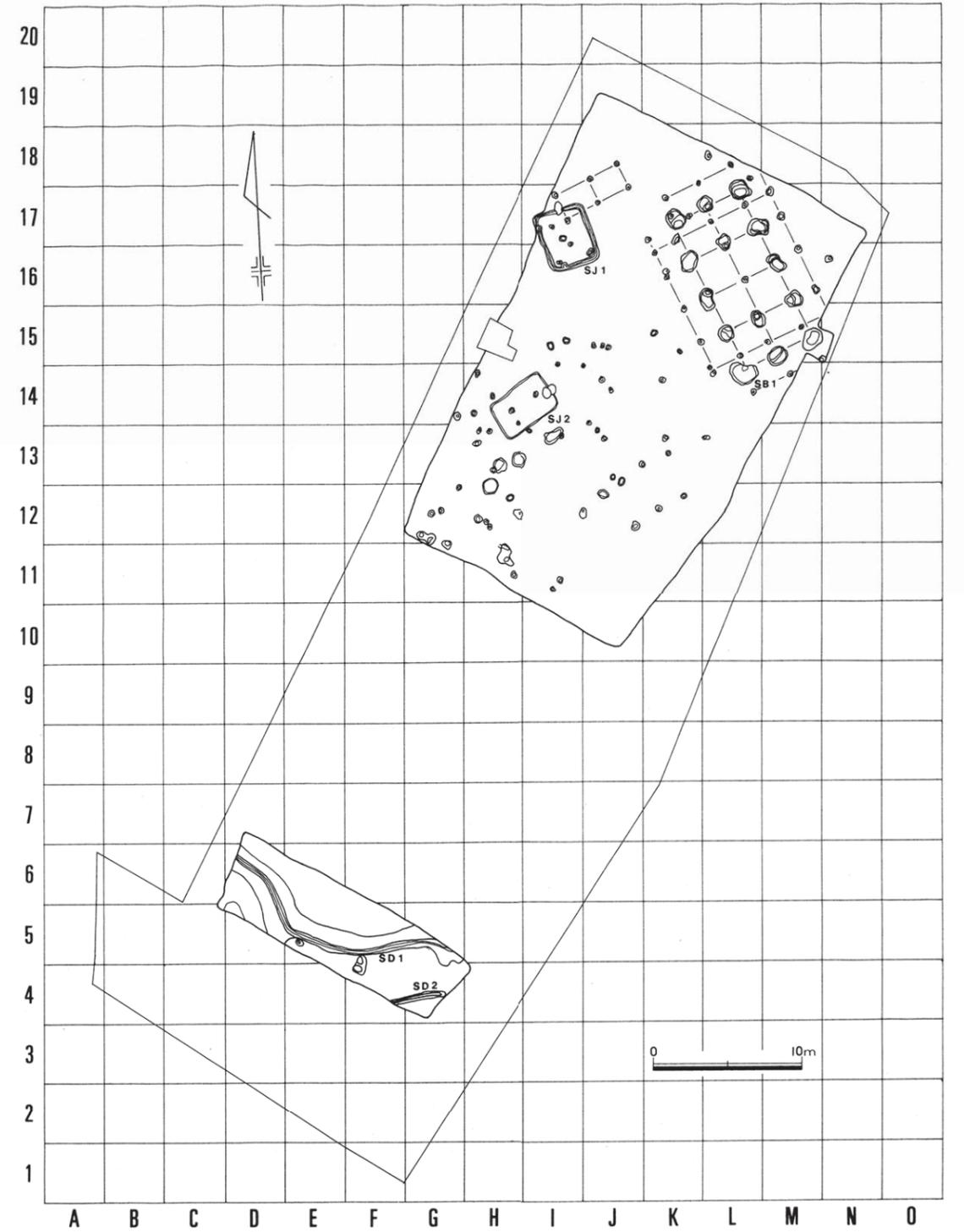
番号	遺跡名	所在地	検出遺構	出土遺物	参考文献	備考
45	榎戸・諏訪原遺跡第6地点	岡一丁目	住居跡2(平安)・掘立柱建物跡1(平安)	須惠器杯・土師器壺・鉄製品		
46	宮原・塚越遺跡第1地点	根岸台一丁目	住居跡2(平安)・掘立柱建物跡2(1号掘立柱建物跡10世紀前半)	須惠器杯・掘立柱建物跡より「加」の墨書2点・土師器壺・灰釉陶器皿・緑釉陶器蓋・炭化米	『向山遺跡 稻荷山遺跡 塚越遺跡 一奈良・平安時代の朝霞 Iー』朝霞市文化財調査報告第18集 照林敏郎「埼玉県朝霞市宮原・塚越遺跡第1地点検出の掘立柱建物跡について」『あらかわ』第2号	旧塚越遺跡 掘立柱建物跡より「加」墨書出土 四面掘立柱建物跡
47	宮原・塚越遺跡第3地点	根岸台二丁目	住居跡3(9~10世紀)	須惠器杯・須惠器壺・土師器・緑釉陶器・土製品・金・銀製品	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成24年度』	
48	宮原・塚越遺跡第4地点	根岸台二丁目	住居跡1(9~10世紀)	須惠器杯・須惠器壺・土師器・緑釉陶器・鉄製品	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成24年度』	
49	宮原・塚越遺跡第5地点	根岸台二丁目	住居跡2(平安)	須惠器杯・土師器壺・鉄製品・石製紡錘車	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成26・27年度』	
50	宮台・宮原遺跡第1地点	根岸台二丁目	住居跡3(平安)	須惠器杯(3号住居跡墨書1点)・須惠器碗・須惠器長頸壺・須惠器壺・土師器壺・土師器台付壺・須惠器杯底部転用紡錘車	『向山遺跡 稻荷山遺跡 塚越遺跡 一奈良・平安時代の朝霞 Iー』朝霞市文化財調査報告第18集	旧向山遺跡
51	宮台・宮原遺跡第2地点	根岸台二丁目	住居跡5(9世紀後半~末)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器皿・須惠器蓋・土師器壺・土師器台付壺・土錘・砥石	『宮台・宮原遺跡第2地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第4集	旧No.17・23遺跡
52	宮台・宮原遺跡第3地点	根岸台二丁目	住居跡2(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成7年度』	
53	宮台・宮原遺跡第5地点	根岸台二丁目	住居跡1(10世紀)	須惠器・土師器	『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書集報1』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第33集	
54	宮台・宮原遺跡第7地点	根岸台二丁目	住居跡7(平安)	須惠器杯・須惠器高台付杯・須惠器器碗・須惠器高台付埴・須惠器皿・須惠器高台付皿・須惠器壺・土師器長頸壺・須惠器壺・土師器台付壺・灰釉陶器長頸壺・灰釉陶器高付皿・刀子・鉄鍬・椀状品・延椀状品・椀状品・椀形滓・砥石・台石・磨石・土錘	『朝霞市 宮台・宮原遺跡 泉宮住宅朝霞根岸台団地建設地内埋蔵文化財発掘調査報告書』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第318集	
55	宮台・宮原遺跡第8地点	根岸台二丁目	住居跡1(9世紀中頃)	須惠器杯・土師器壺	『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報1』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第33集	
56	宮台・宮原遺跡第11地点	根岸台二丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器		
57	宮台・宮原遺跡第13地点	根岸台二丁目	住居跡1(9世紀初頭~前半)	須惠器杯・須惠器高台付杯・土師器壺	『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報7』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第45集	
58	宮台・宮原遺跡第14地点	根岸台二丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器		
59	宮台遺跡第1地点	岡三丁目	住居跡1(平安)	鎌・刀子	『宮台遺跡第5・6地点発掘調査報告書 一塚塚古墳確認調査報告書ー』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第18集	旧宮台遺跡
60	稻荷山・郷戸遺跡第1地点	根岸台八丁目	掘立柱建物跡4(平安)・溝状遺構1(9世紀)・ピット4(平安)	須惠器杯・須惠器高台付杯	『向山遺跡 稻荷山遺跡 塚越遺跡 一奈良・平安時代の朝霞 Iー』朝霞市文化財調査報告第18集	旧稻荷山遺跡
61	稻荷山・郷戸遺跡第3地点	根岸台八丁目	住居跡1(平安)	須惠器杯・土師器		
62	稻荷山・郷戸遺跡第5地点	根岸台八丁目	掘立柱建物1(平安)		『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成5年度』 『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成9年度』	掘立柱建物跡を奈良・平安時代としたのは筆者の所見である。 調査地点は別にになっているが同一の調査
63	稻荷山・郷戸遺跡第6地点					
64	稻荷山・郷戸遺跡第10地点	根岸台八丁目	掘立柱建物跡4(平安)・溝跡1(平安)	須惠器杯・土師器壺		
65	稻荷山・郷戸遺跡第11地点	根岸台八丁目	溝1(平安)	須惠器杯・須惠器壺・土師器壺		
66	馬堀遺跡第2地点	根岸台二丁目	住居跡1(平安)・溝状遺構3(平安)・粘土探堀坑2(平安)・土坑(平安)・ピット(平安)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器長頸壺・土師器壺・土師器台付壺・鉄壺・鉄製紡錘車・刀子	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成9年度』	
67	馬堀遺跡第3地点	根岸台五丁目	住居跡5(平安)	須惠器・土師器・鉄製品	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成10年度』	
68	馬堀遺跡第4地点	根岸台五丁目	住居跡14(平安)・掘立柱建物4(平安)・溝1(平安~中世)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器蓋・須惠器皿・須惠器長頸壺・須惠器壺・土師器杯・土師器壺・灰釉陶器・男瓦・銅製丸鞆・銅製巡方・銭貫(慶平水寶)・鉄族・刀子・鉄製紡錘車	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成11年度』 『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成12年度』	
69	馬堀遺跡第6地点	根岸台五丁目	溝1(平安~中世)	須惠器・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成11年度』	
70	馬堀遺跡第7地点	根岸台五丁目	住居跡1(平安)・溝2(平安)	須惠器・須惠器蓋(溝より「土」の墨書1点)土師器・鉄製品・土錘	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成11年度』	
71	馬堀遺跡第8地点	根岸台五丁目	住居跡2(平安)・溝状遺構2(平安)・平安時代から中世	須惠器杯・須惠器碗・須惠器蓋・須惠器皿・須惠器長頸壺・須惠器壺・土師器壺・土師器台付壺・灰釉陶器・平瓦・鉄族・刀子・鉄製紡錘車・鉄滓・砥石	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成12年度』	
72	馬堀遺跡第9地点	根岸台五丁目	住居跡1(平安)・掘立柱建物跡1(平安)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器蓋・須惠器壺・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成12年度』	
73	馬堀遺跡第10地点	根岸台五丁目	住居跡1(平安)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器蓋・須惠器皿・須惠器壺・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成12年度』	
74	馬堀遺跡第11地点	根岸台五丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成12年度』	
75	馬堀遺跡第13地点	根岸台五丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成13年度』	
76	馬堀遺跡第14地点	根岸台五丁目	溝状遺構1(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成13年度』	
77	馬堀遺跡第15地点	根岸台五丁目	住居跡2(平安)	須惠器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成15年度』	
78	馬堀遺跡第16地点	根岸台五丁目	住居跡3(平安)	須惠器杯・須惠器碗・須惠器高台付壺・須惠器蓋・須惠器壺・須惠器・土師器壺・土師器台付壺・緑釉陶器皿・灰釉陶器壺・丸瓦・刀子・釘・椀形滓	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成18年度』	
79	馬堀遺跡第17地点	根岸台五丁目	溝状遺構2(平安)	須惠器杯・須惠器壺・須惠器高台付壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成18年度』	
80	馬堀遺跡第18地点	根岸台四丁目	住居跡1(平安)・溝状遺構2	須惠器杯・須惠器碗・須惠器壺・土師器壺・土師器台付壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成18年度』	
81	馬堀遺跡第19地点	根岸台五丁目	溝状遺構・土坑・ピット(平安以降)	須惠器杯・須惠器高台付壺・須惠器壺・土師器壺	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成19年度』	
82	馬堀遺跡第20地点	根岸台五丁目	住居跡2・ピット(平安)	須惠器杯・須惠器蓋・須惠器壺・土師器壺・土師器台付壺・鉄製紡錘車	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成19年度』	
83	馬堀遺跡第22地点	根岸台五丁目	ピット(平安以降)	須惠器杯・須惠器壺・須惠器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成19年度』	
84	馬堀遺跡第23地点	根岸台五丁目	住居跡1(9世紀中葉)	須惠器杯・須惠器壺・土師器壺・土師器台付壺・刀子・土錘	『馬堀遺跡第23・24地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第36集	
85	馬堀遺跡第25地点	根岸台四丁目	住居跡2(平安)	須惠器杯・須惠器壺・須惠器・土師器壺・土師器台付壺・鉄製品		
86	馬堀遺跡第29地点	根岸台五丁目	住居跡1(平安)	須惠器・土師器	『埼玉県埋蔵文化財調査年報 平成26・27年度』	
87	向原・中笹原遺跡第1地点	根岸台七丁目	住居跡1(9世紀中頃)	須惠器杯・土師器壺	『平沢・原畑遺跡第2地点 向原・中笹原遺跡第1地点発掘調査報告書』朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集	旧No.124遺跡



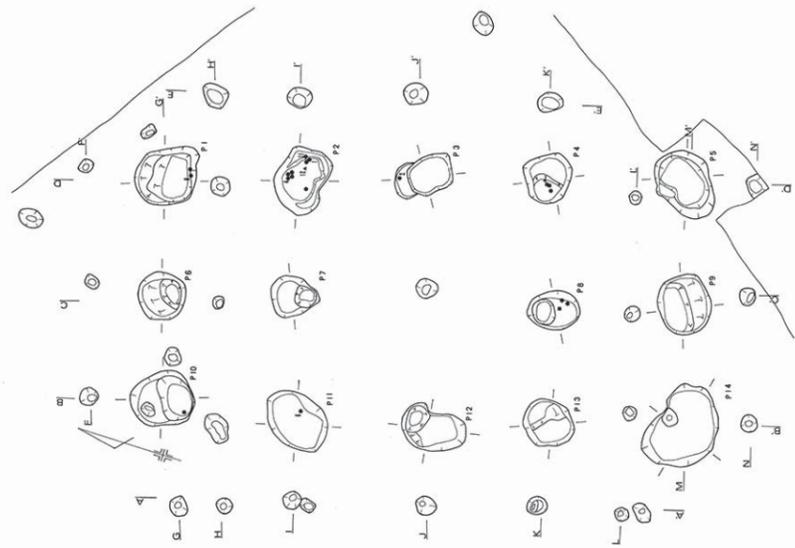
奈良時代の住居跡（泉水山・富士谷遺跡第16地点第1号住居跡 1/80）



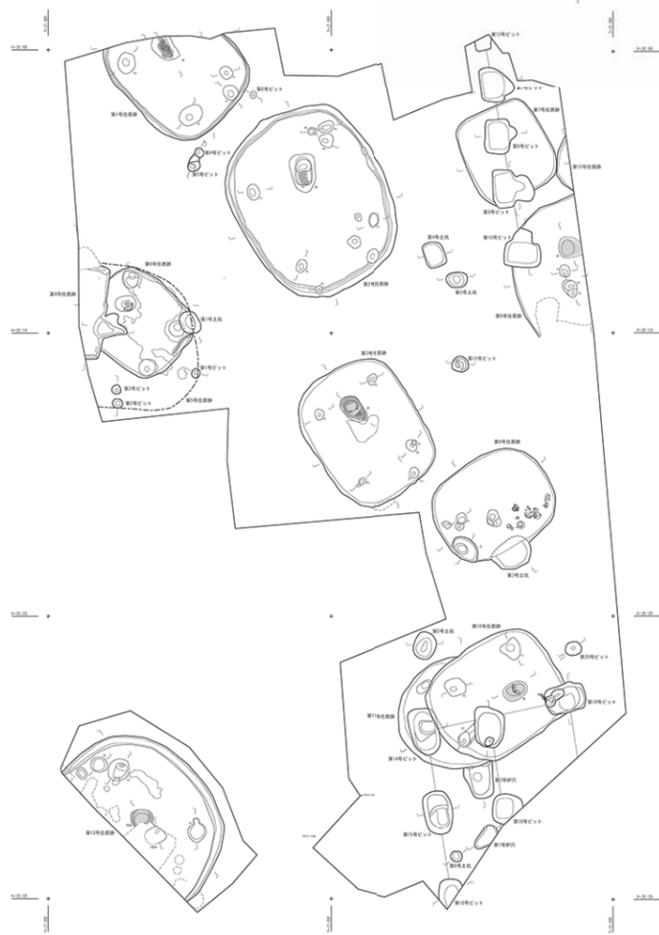
平安時代の住居跡（諏訪原・中道遺跡第1地点第1号住居跡 1/80）



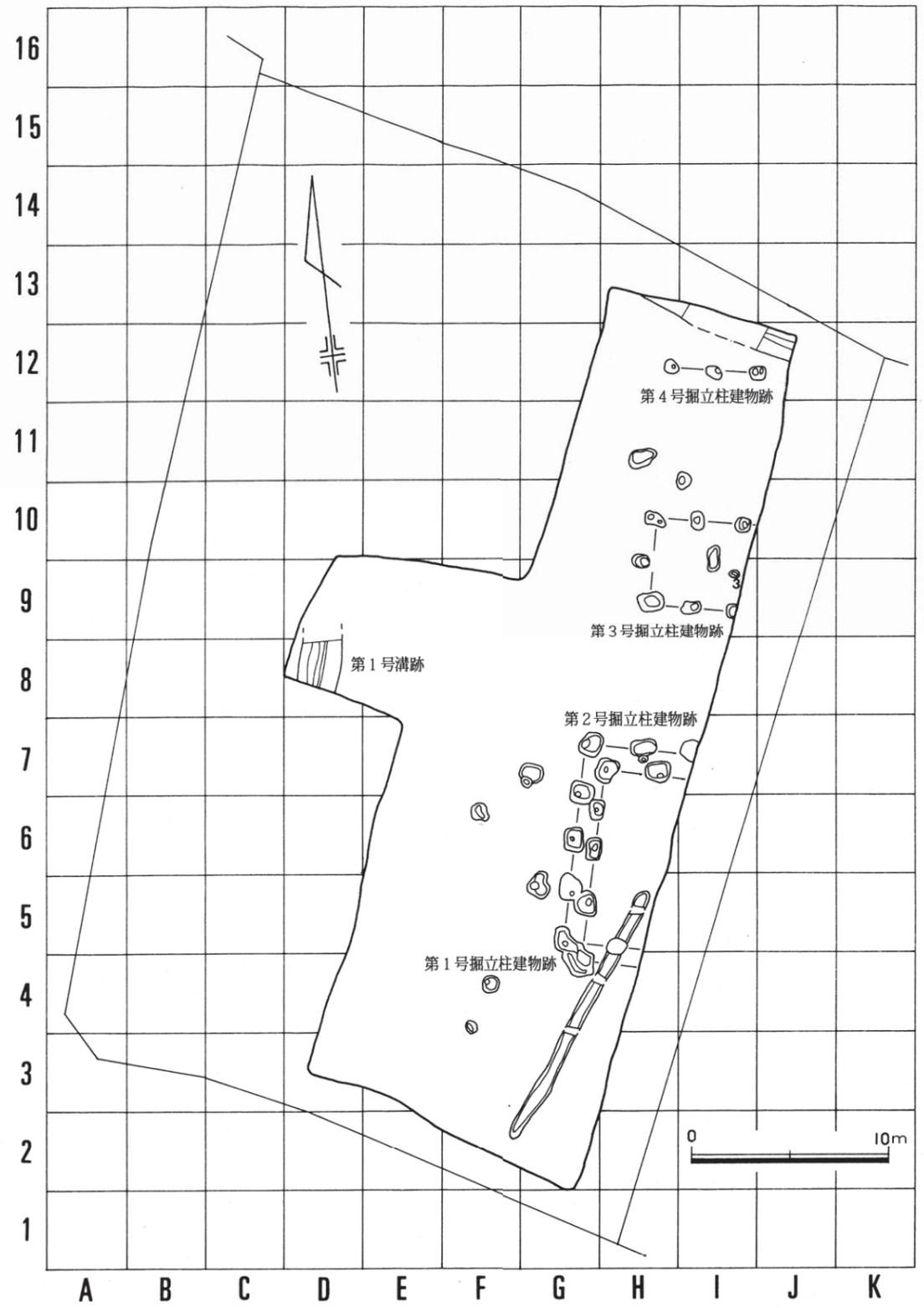
宮原・塚越遺跡第1地点全体図（1/400）



宮原・塚越遺跡第1地点第1号掘立柱建物跡 (1/150)



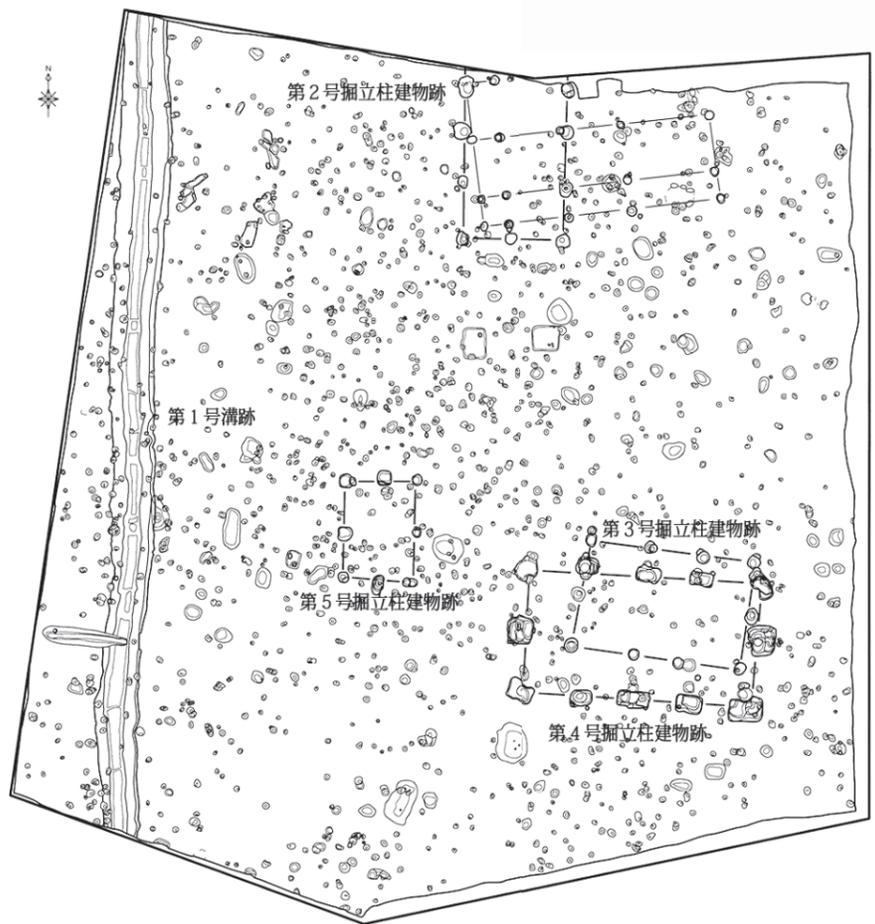
中道・中道下遺跡第10地点全体図 (1/250)



稲荷山・郷戸遺跡第1地点全体図 (1/300)



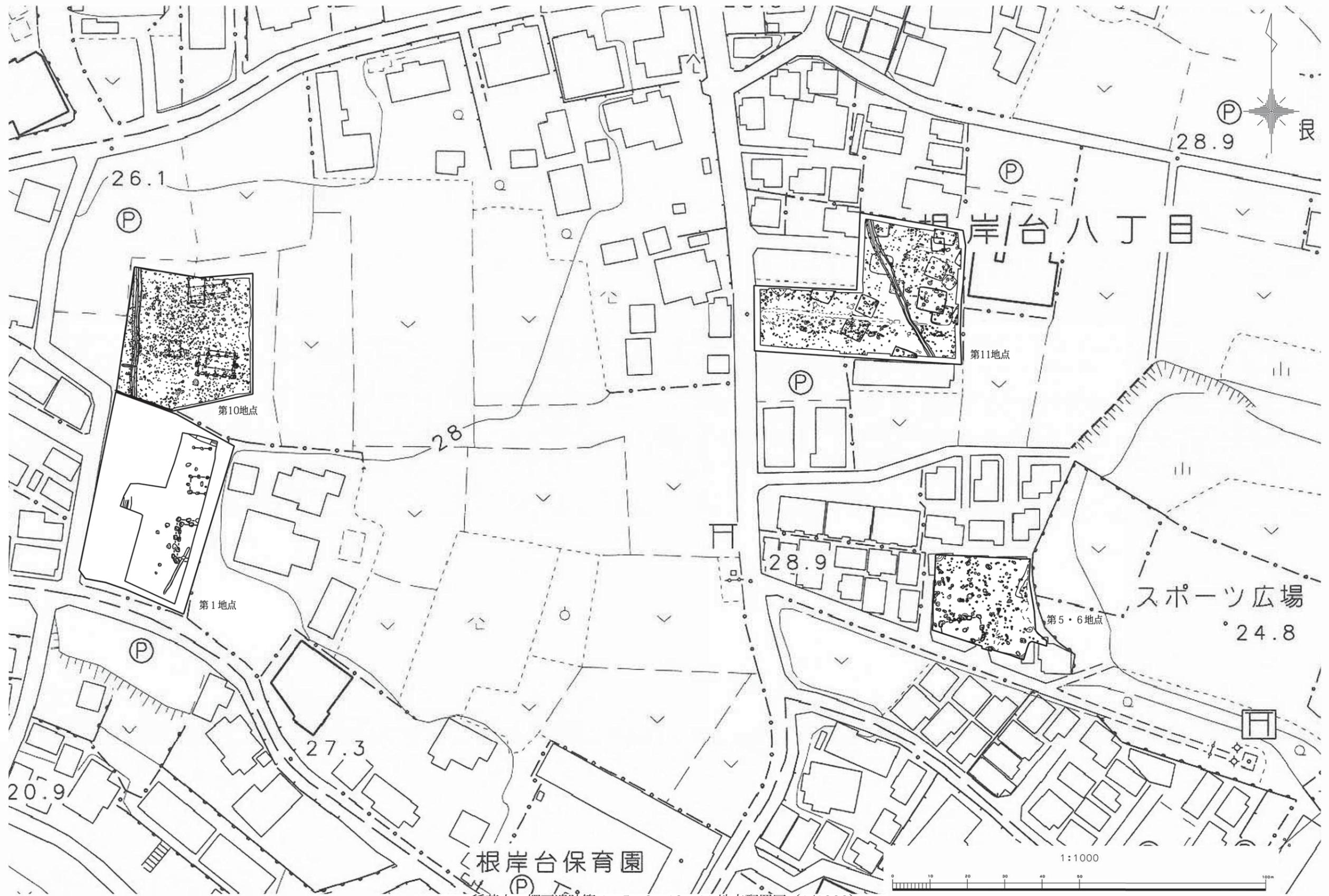
稻荷山・郷戸遺跡第5・6地点全体図 (1/300)



稻荷山・郷戸遺跡第10地点全体図 (1/300)

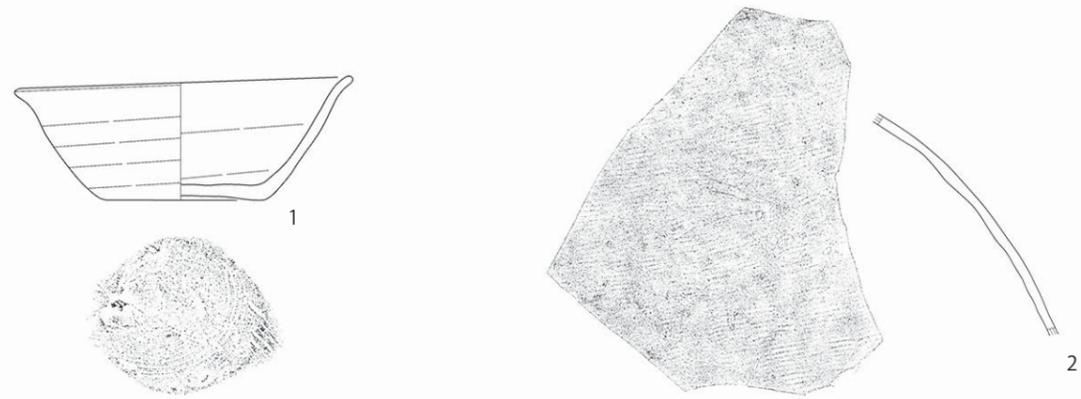


稻荷山・郷戸遺跡第11地点全体図 (1/300)

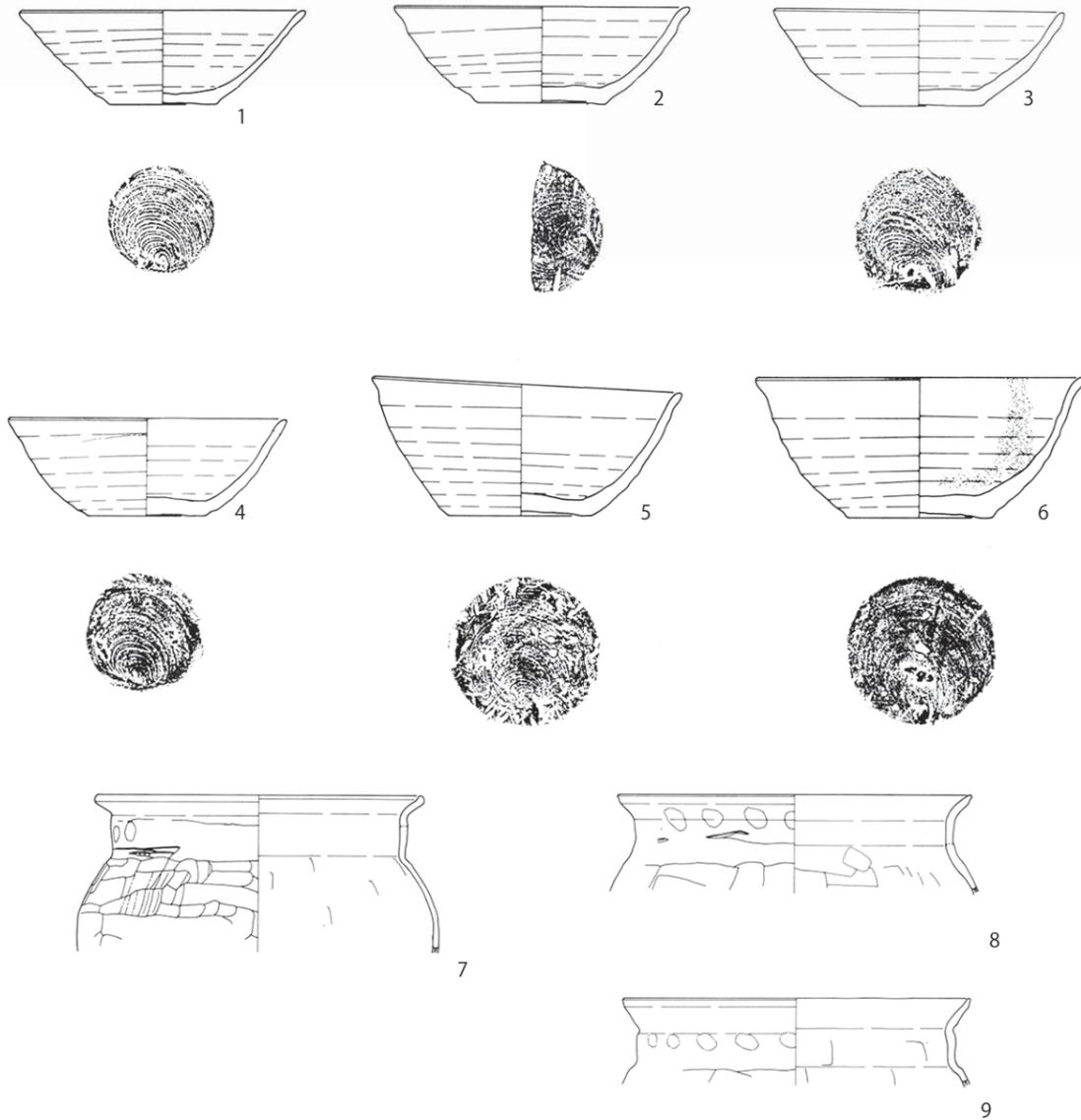


根岸台保育園

稲荷山・郷戸遺跡第1・5・6・10・11 地点配置図 (1/1000)



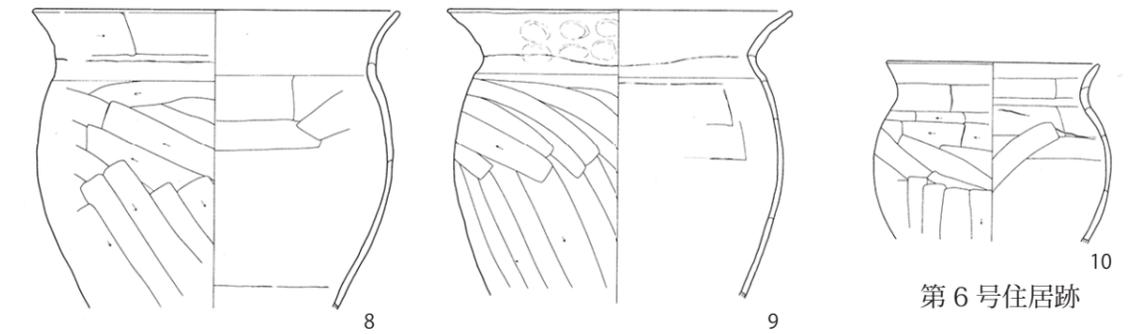
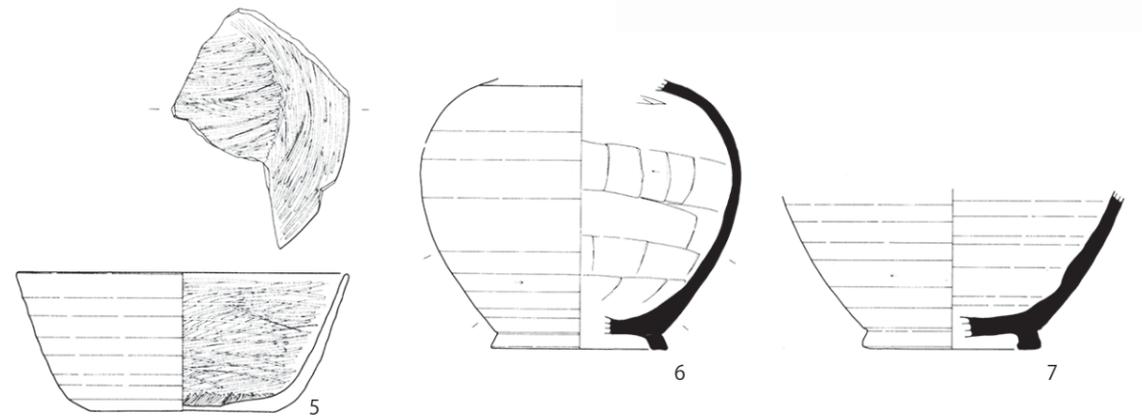
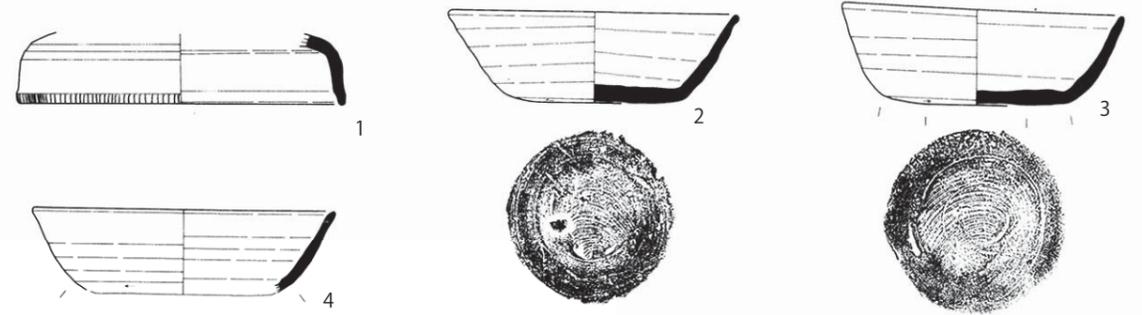
人部・峡遺跡第4地点第1号住居跡出土土器



中道・中道下遺跡第2地点第1号住居跡出土土器

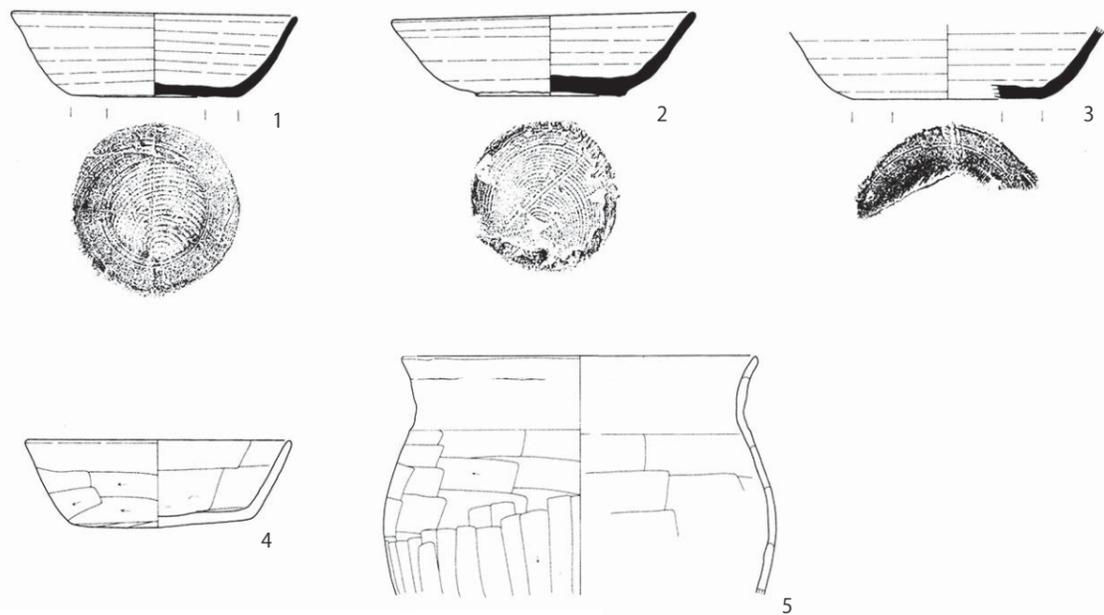


中道・中道下遺跡第3地点第2号住居跡出土土器

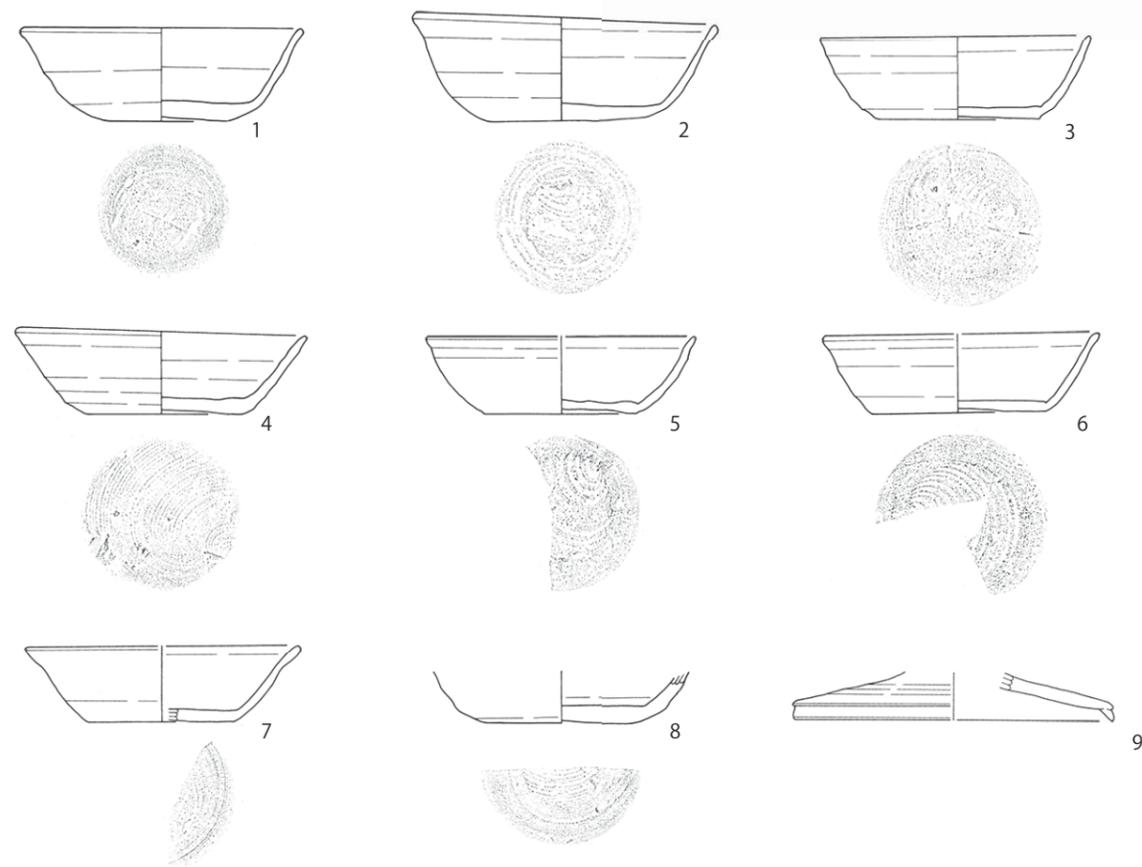
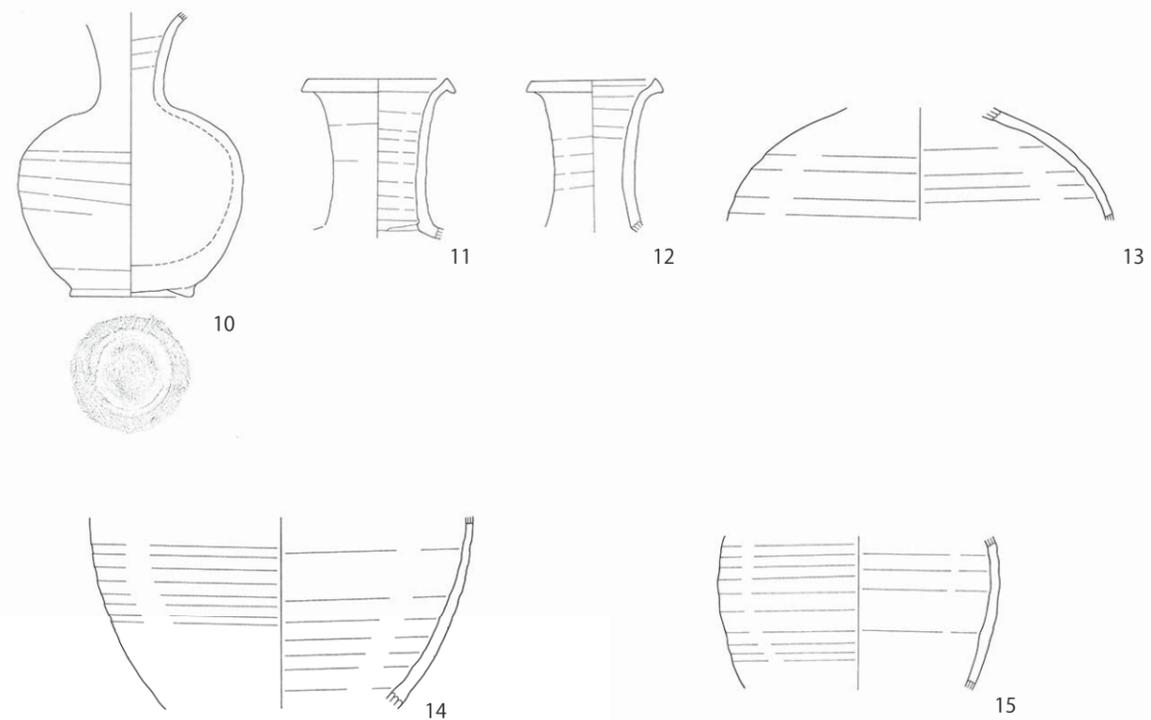


中道・中道下遺跡第7次(第7地点)第3・6号住居跡出土土器

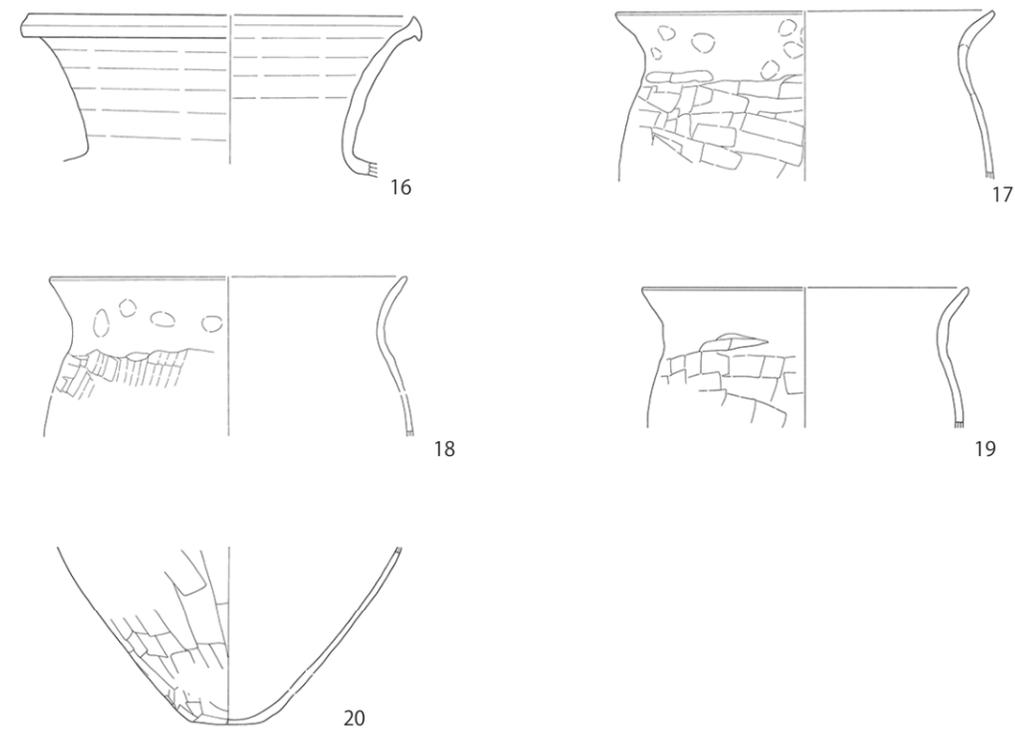
第6号住居跡



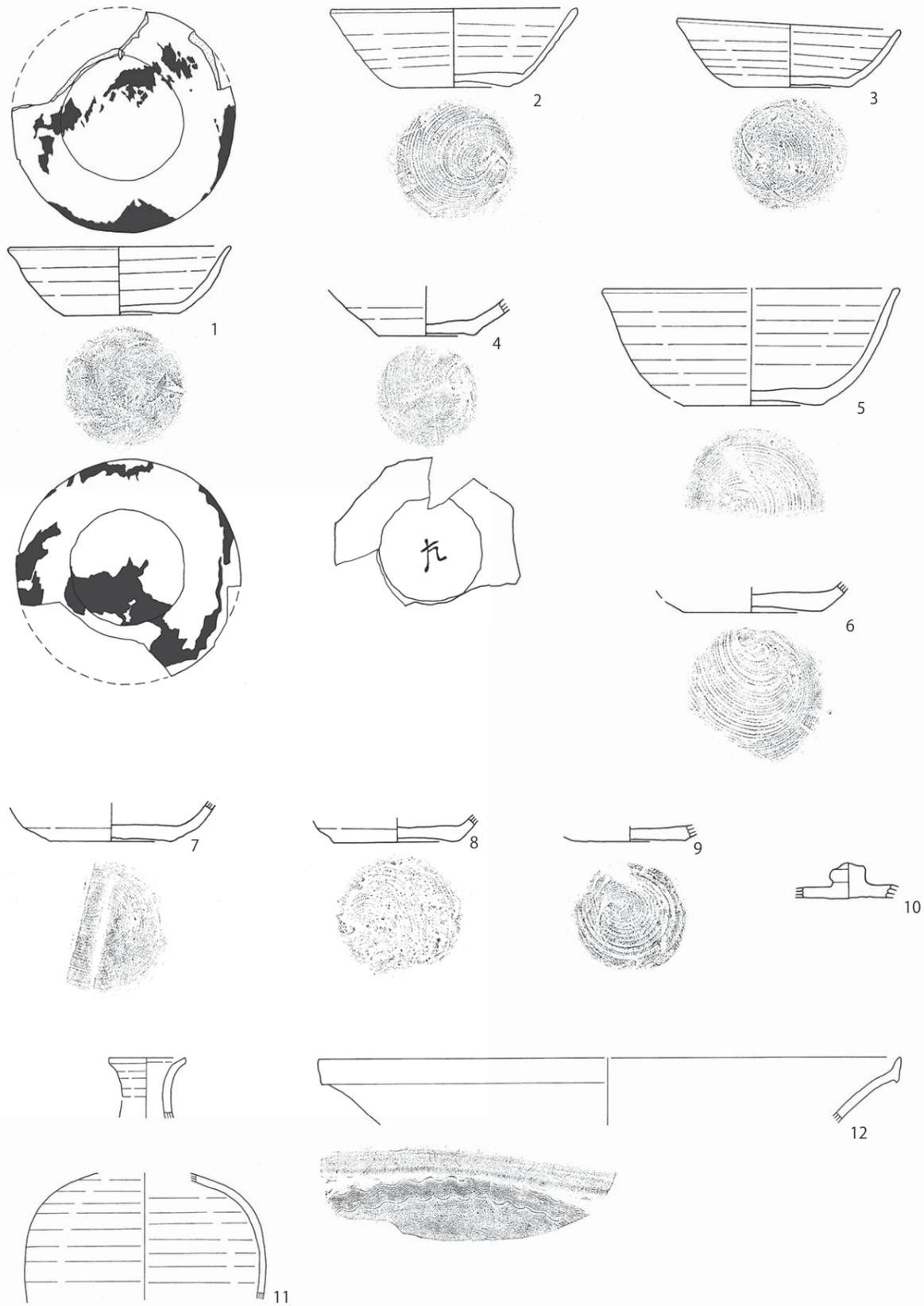
中道・中道下遺跡第7次（第7地点）第14号住居跡出土土器



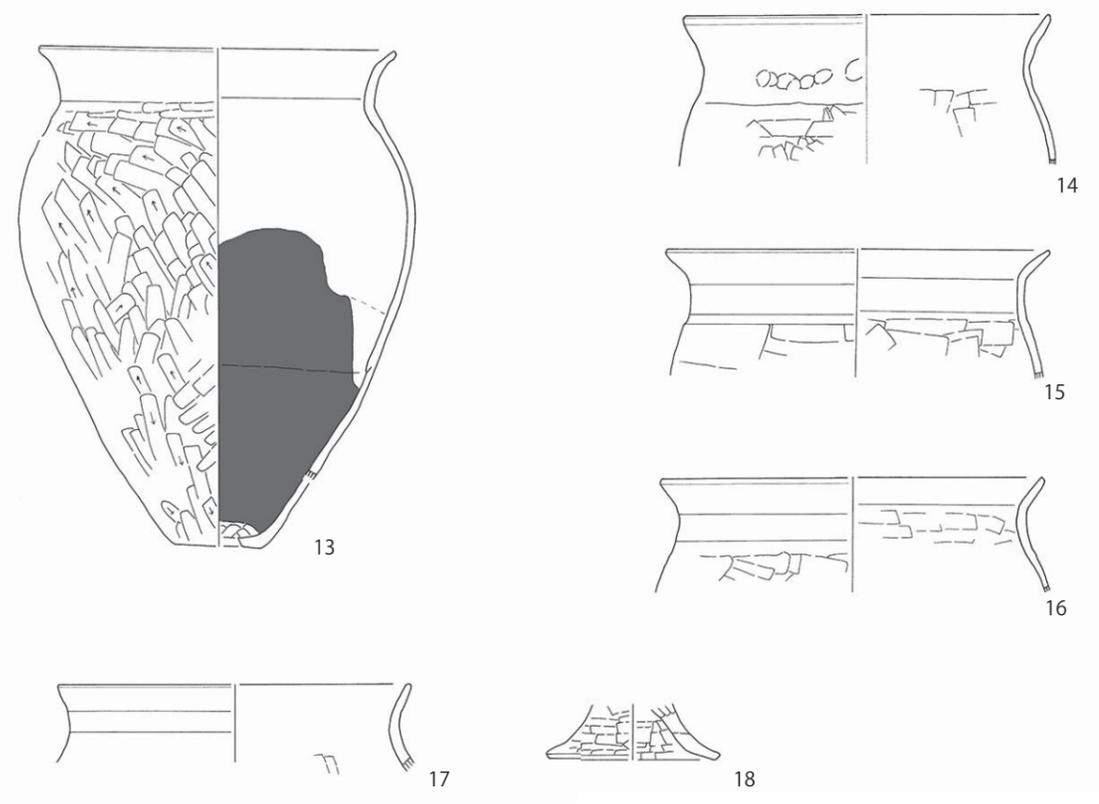
西久保・宮山遺跡第7地点第4号住居跡出土土器（1）



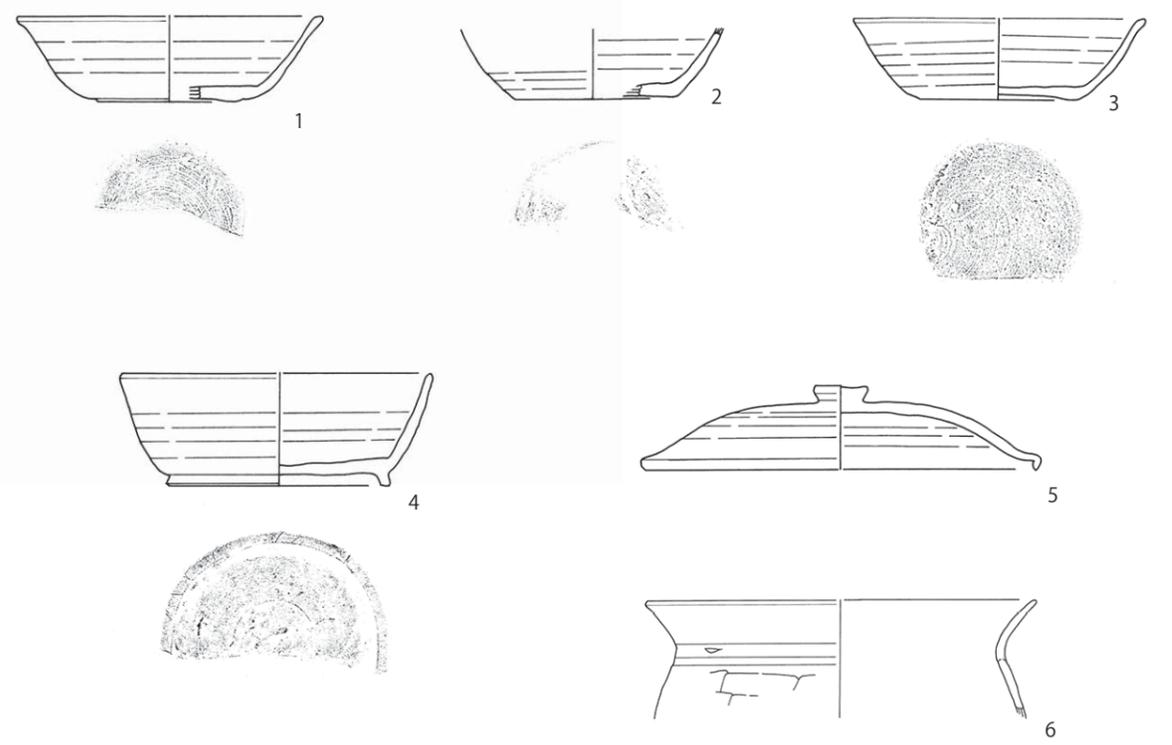
西久保・宮山遺跡第7地点第4号住居跡出土土器（2）



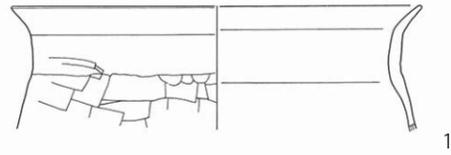
北割・西原遺跡第 10 地点第 1 号住居跡出土土器 (1)



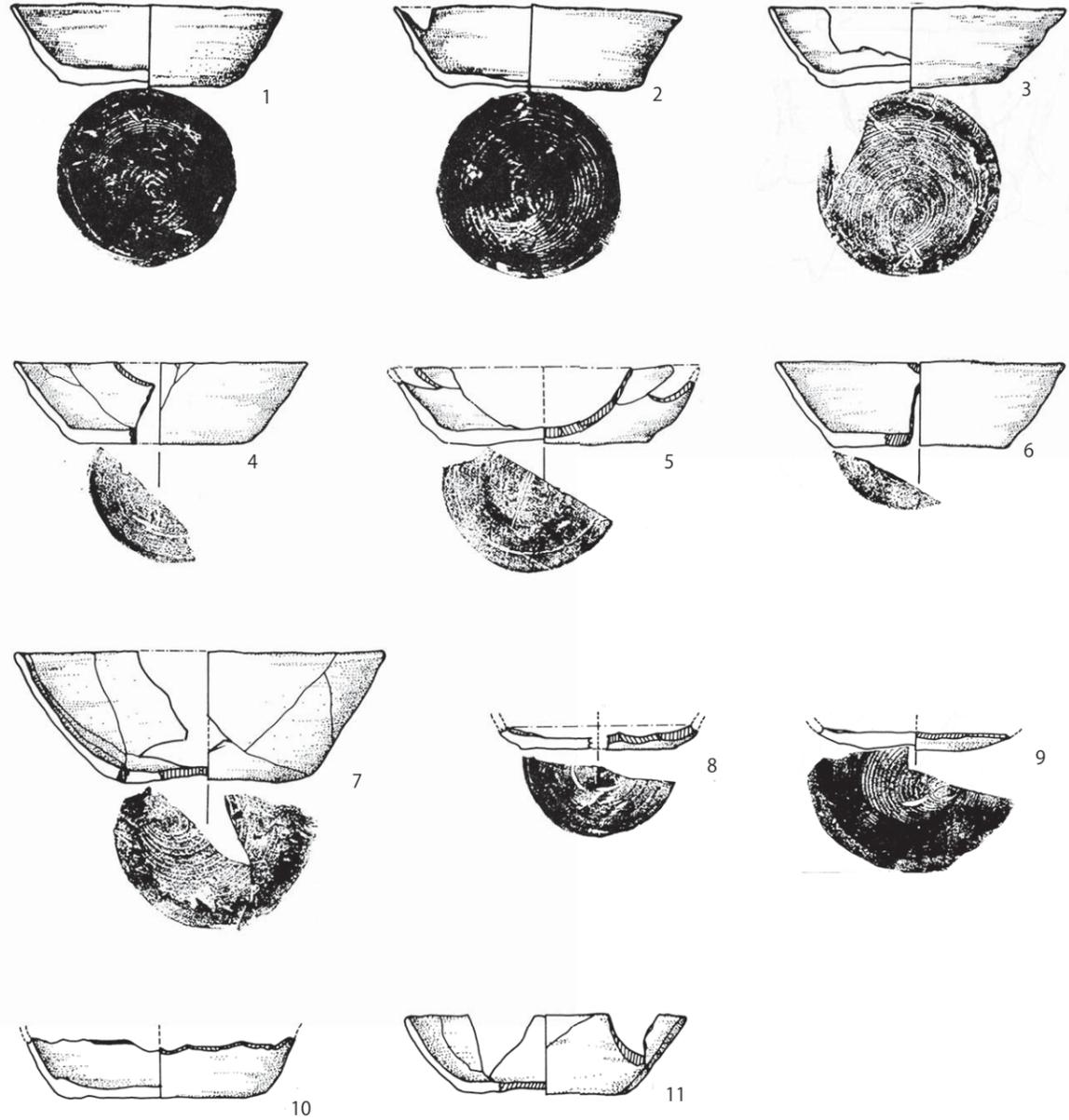
北割・西原遺跡第 10 地点第 1 号住居跡出土土器 (2)



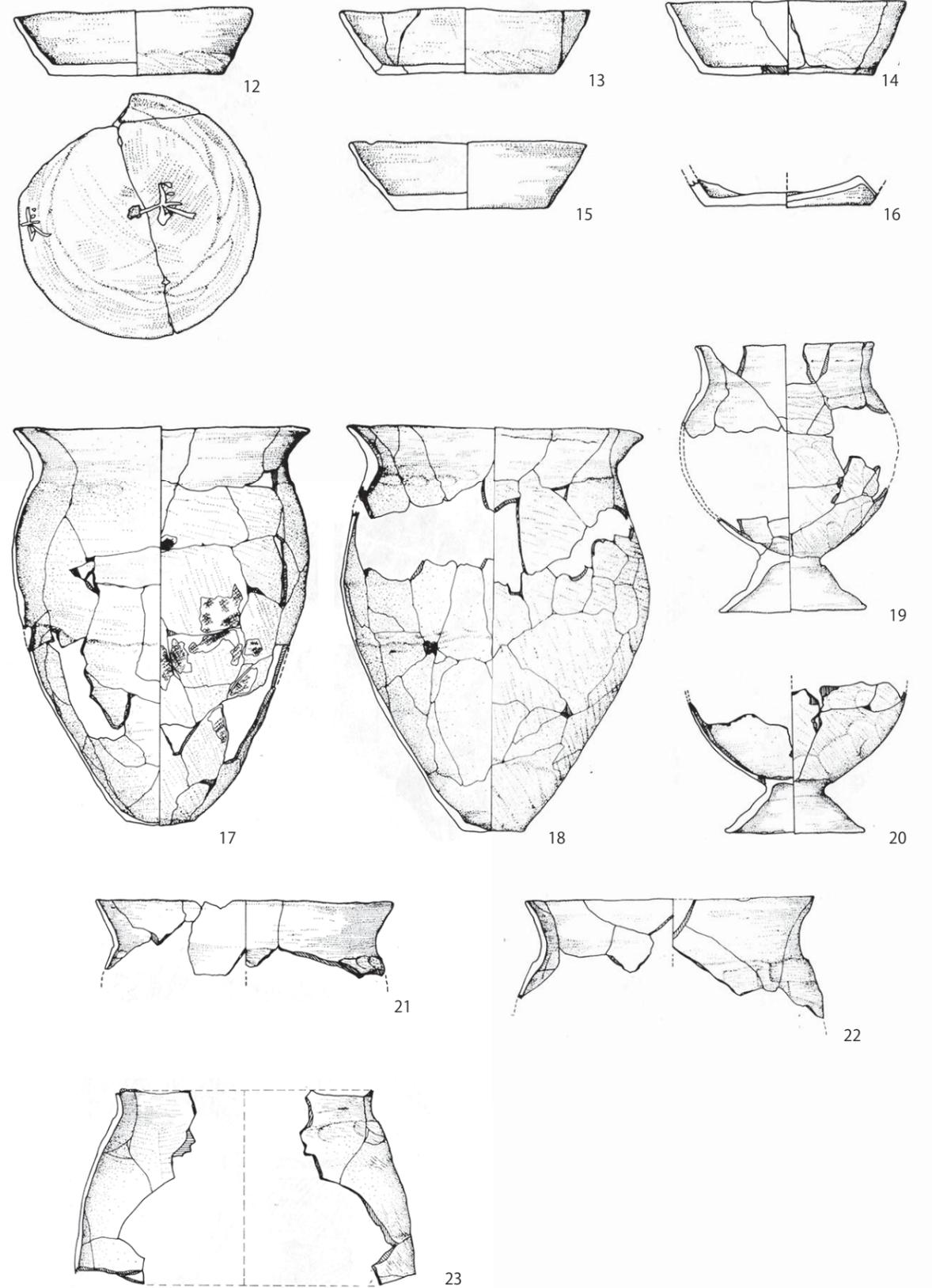
北割・西原遺跡第 10 地点第 2 号住居跡出土土器



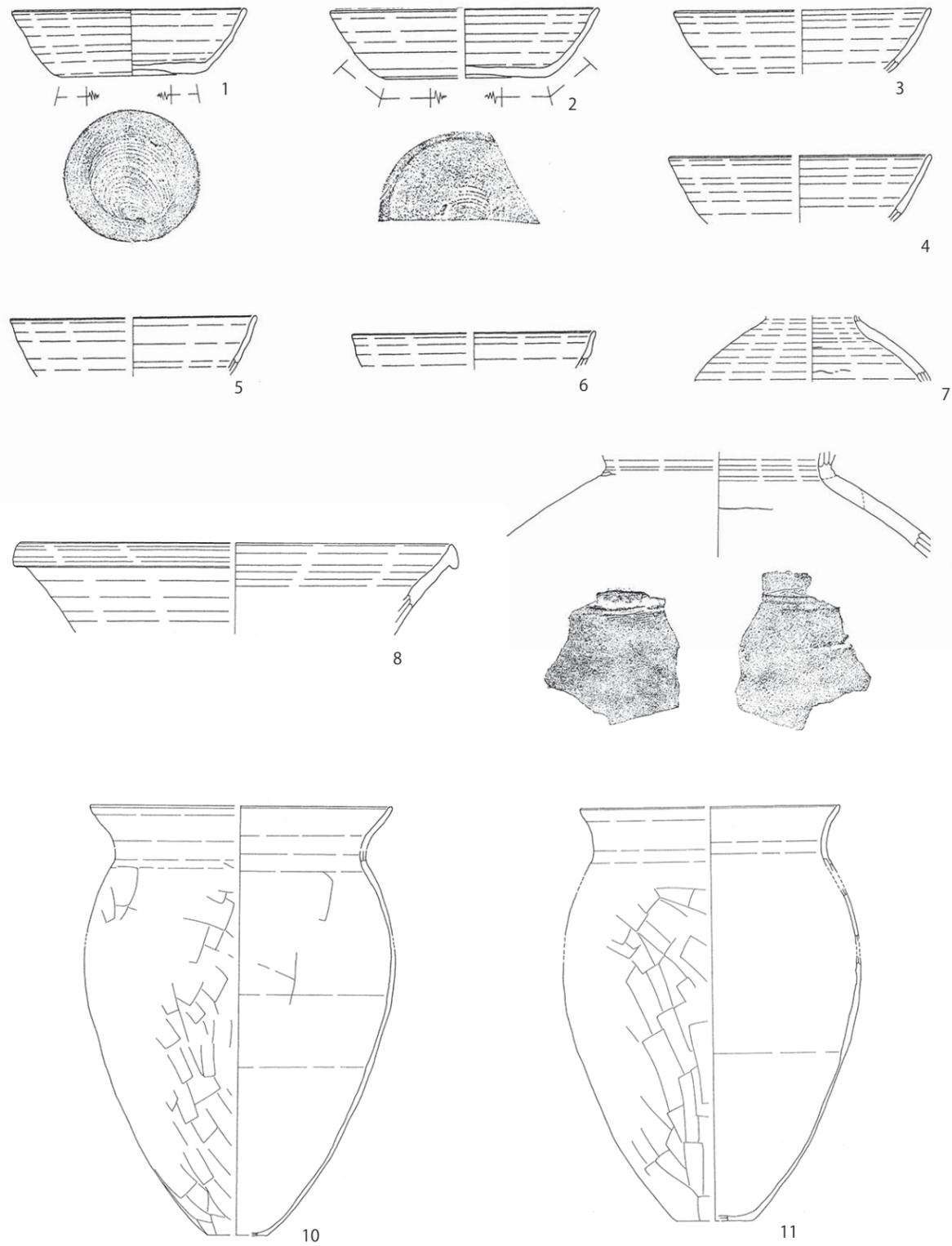
北割・西原遺跡第 11 地点第 1 号住居跡出土土器



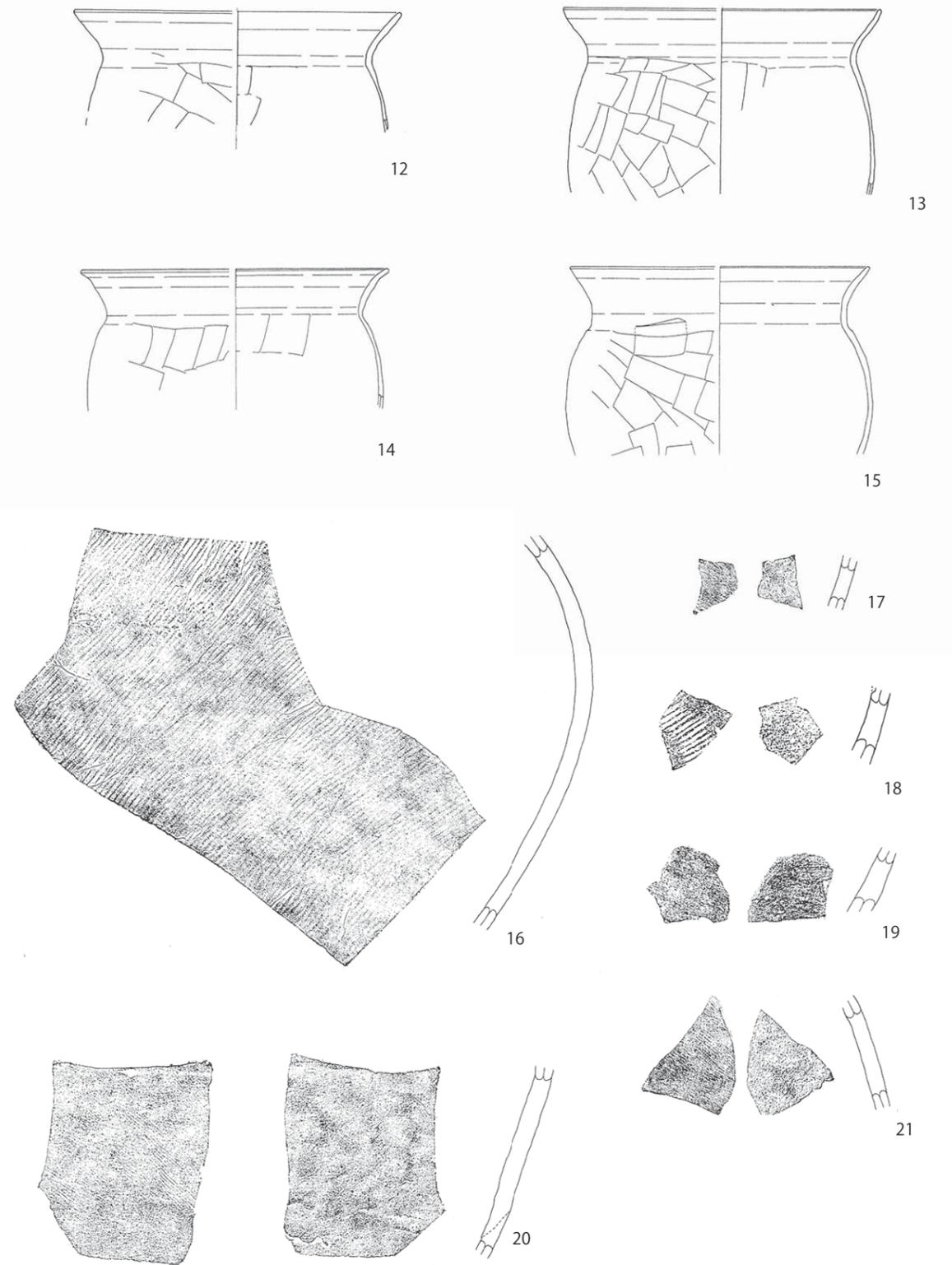
南割・西久保遺跡第 1 地点 (旧第二西久保遺跡) 第 1 号住居跡出土土器 (1)



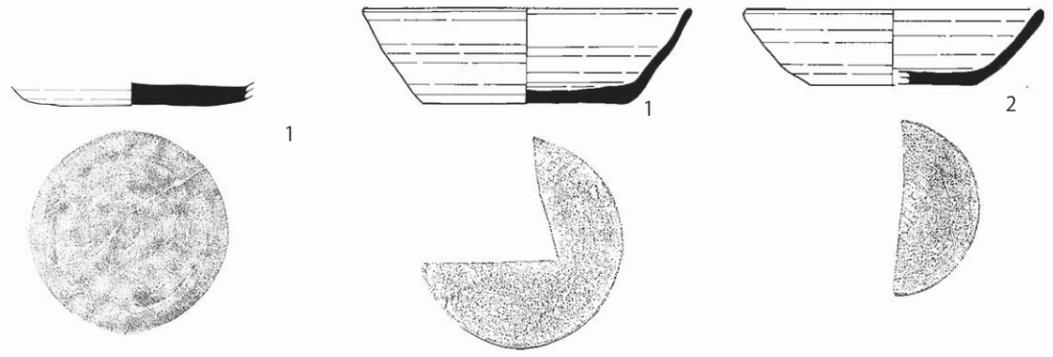
南割・西久保遺跡第 1 地点 (旧第二西久保遺跡) 第 1 号住居跡出土土器 (2)



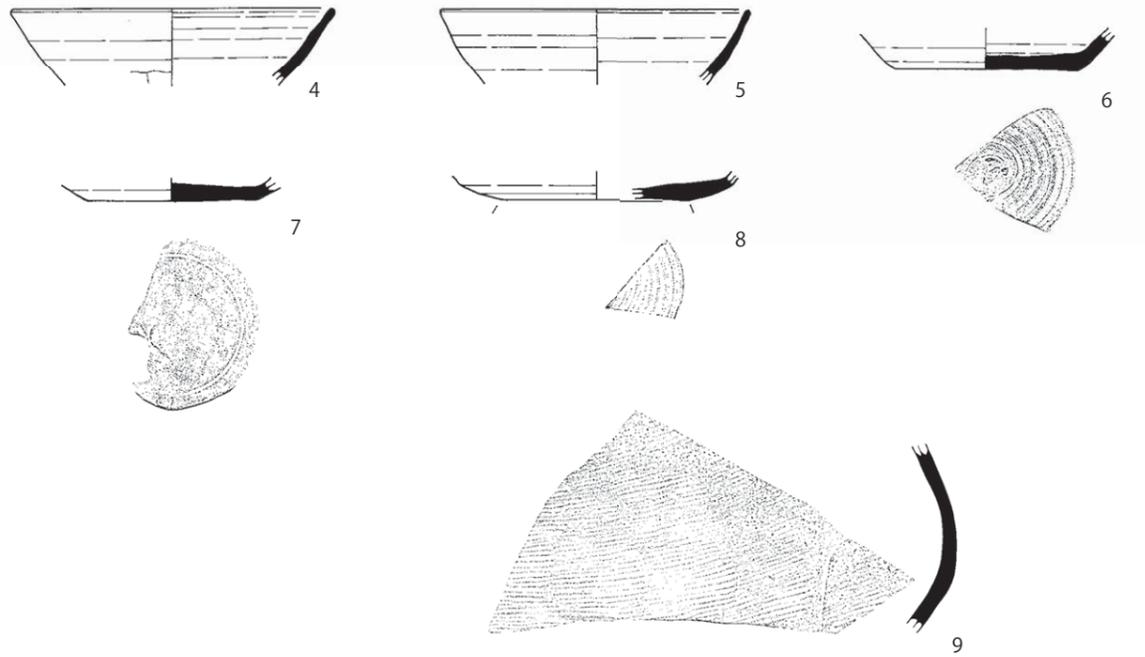
泉水山・富士谷遺跡第 16 地点第 1 号住居跡出土土器 (1)



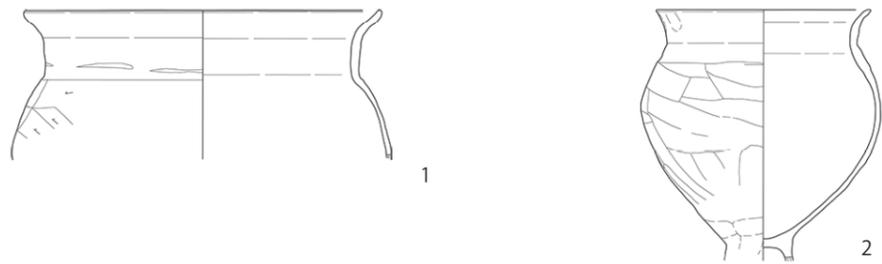
泉水山・富士谷遺跡第 16 地点第 1 号住居跡出土土器 (2)



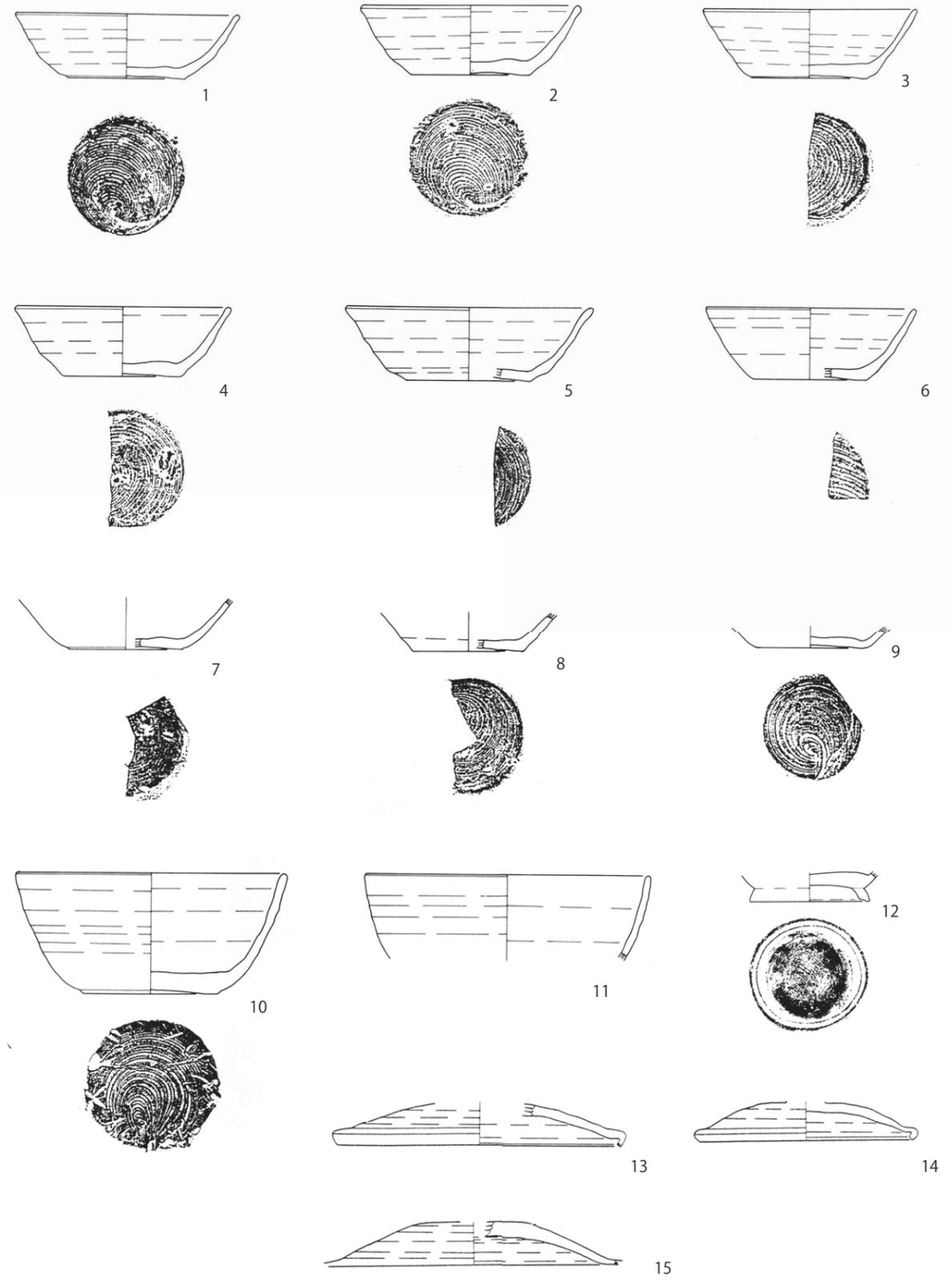
泉水山・富士谷遺跡第 79 地点
第 1 号住居跡出土土器



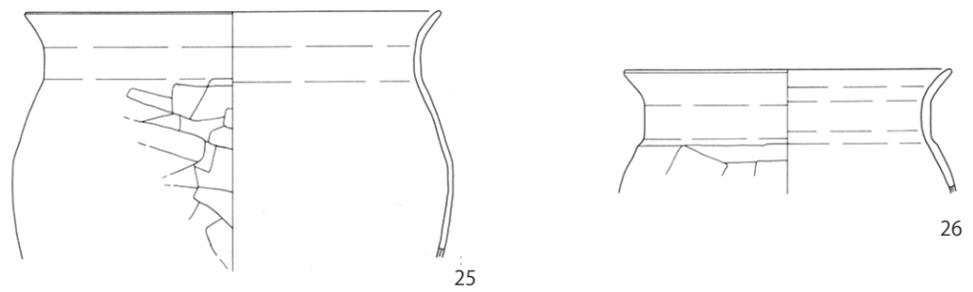
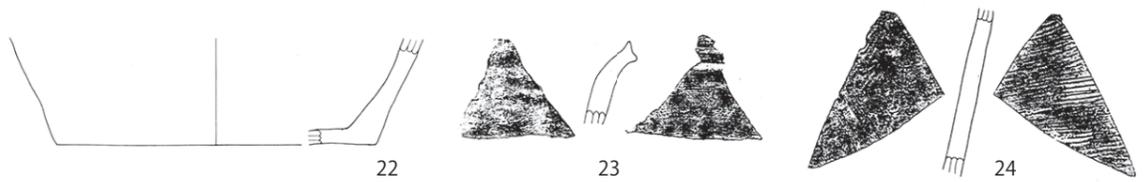
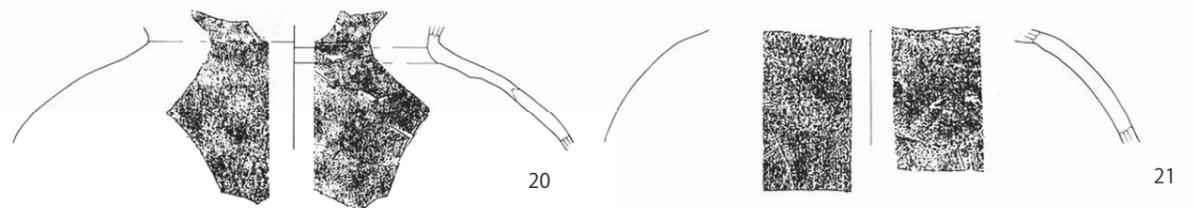
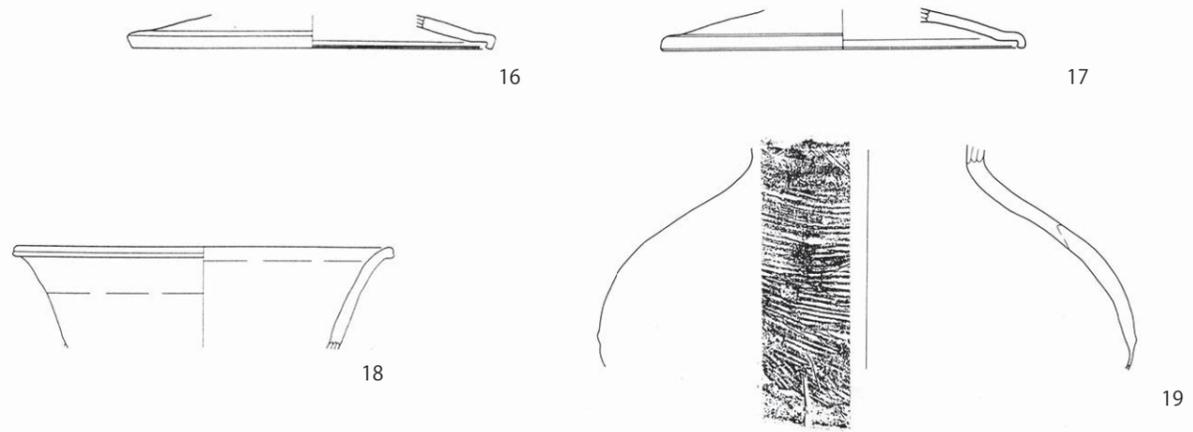
泉水山・富士谷遺跡第 81 地点第 1 号住居跡出土土器



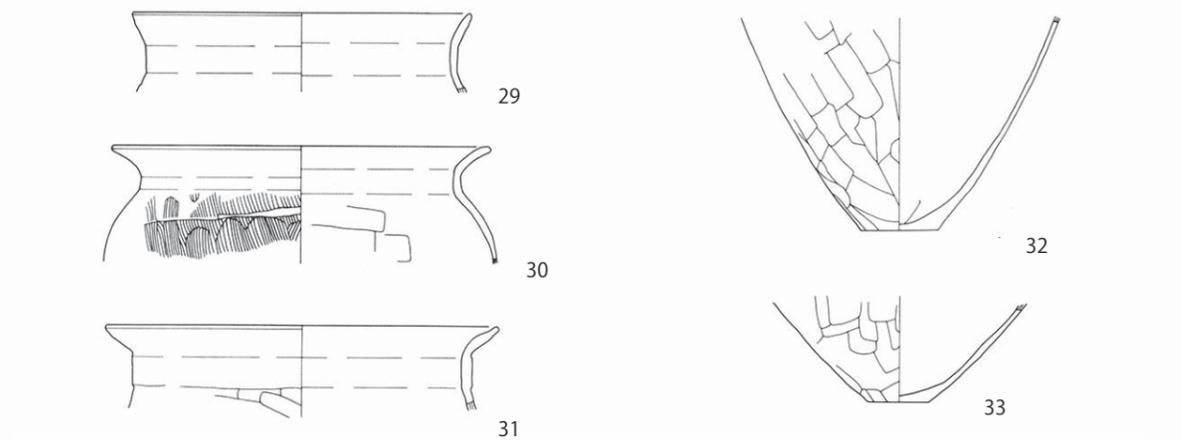
行人塚・金子塚下遺跡第 2 地点第 1 号住居跡出土土器



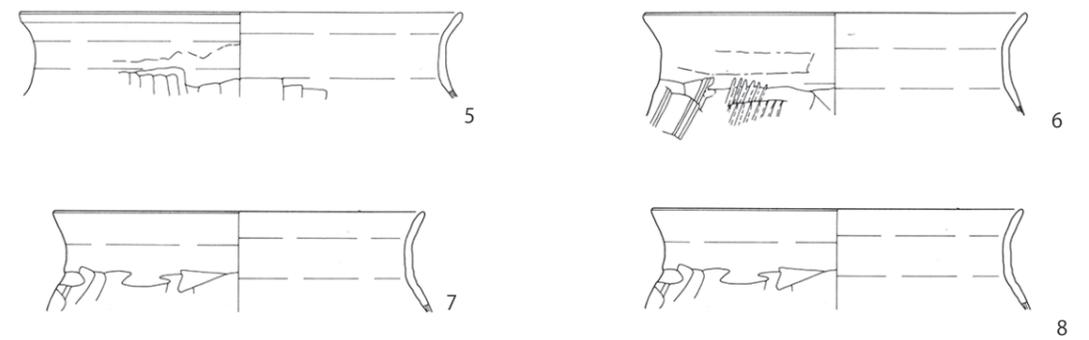
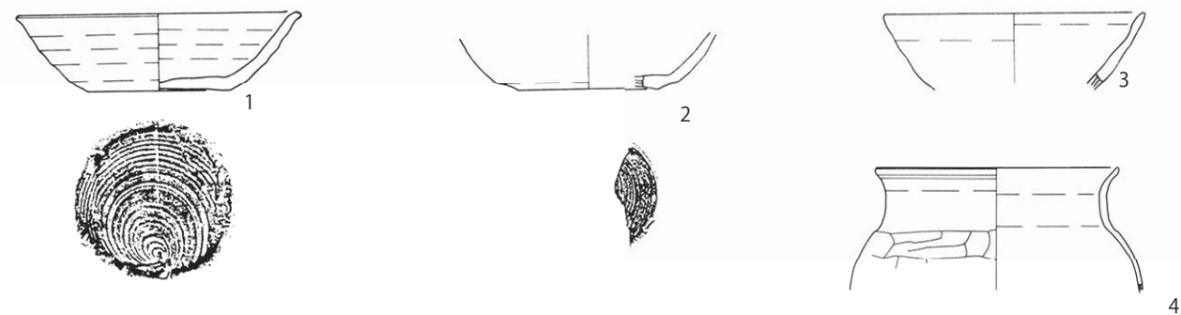
諏訪原・中道遺跡第 1 地点第 1 号住居跡出土土器 (1)



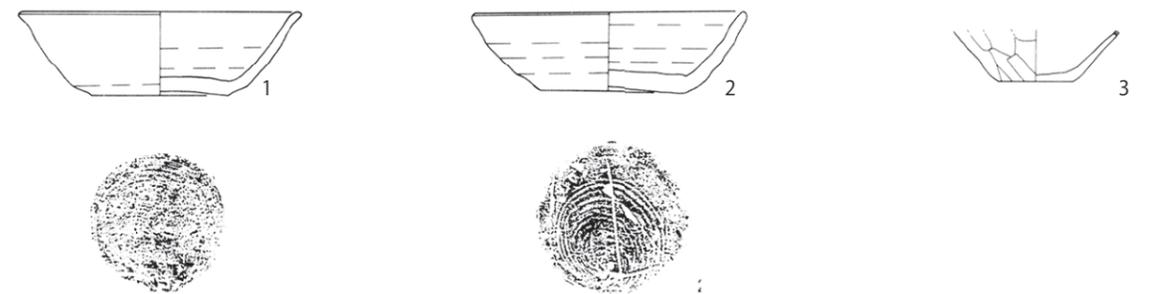
諏訪原・中道遺跡第1地点第1号住居跡出土土器(2)



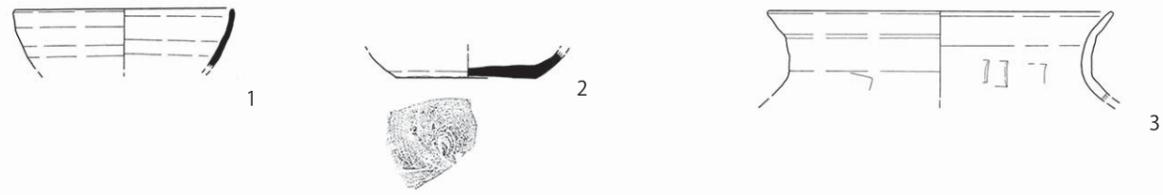
諏訪原・中道遺跡第1地点第1号住居跡出土土器(3)



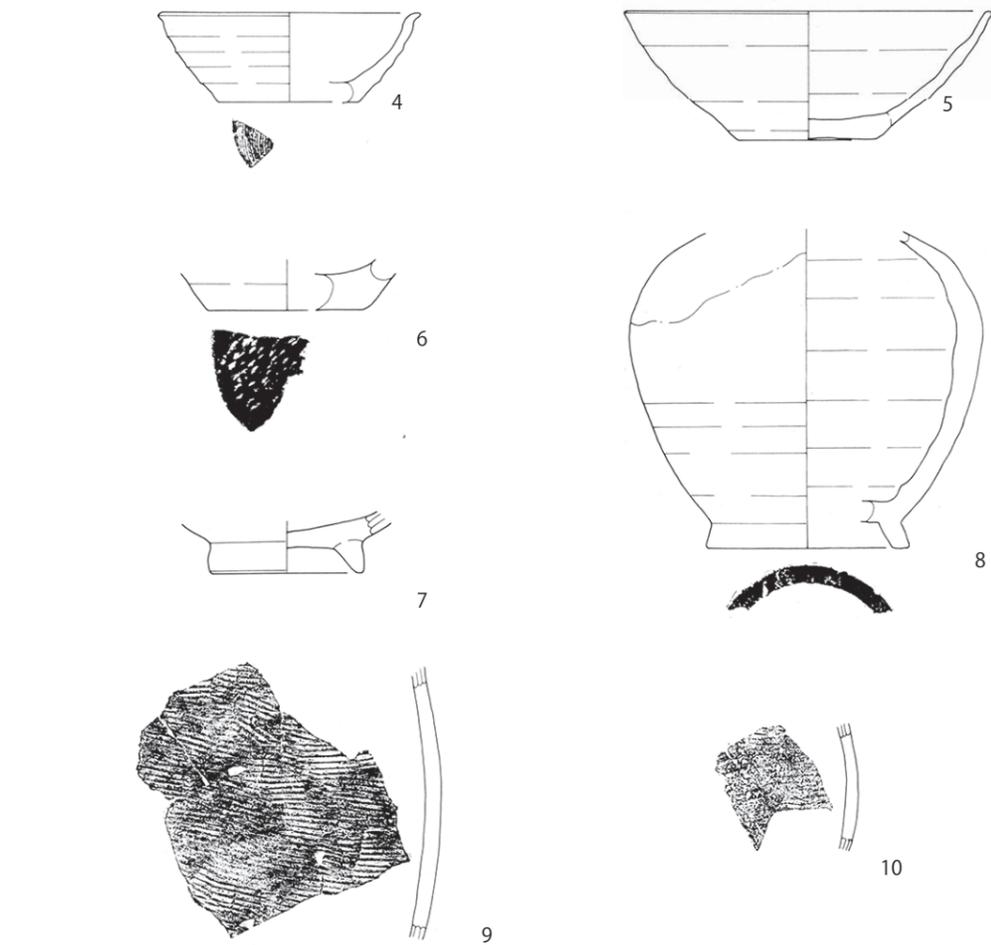
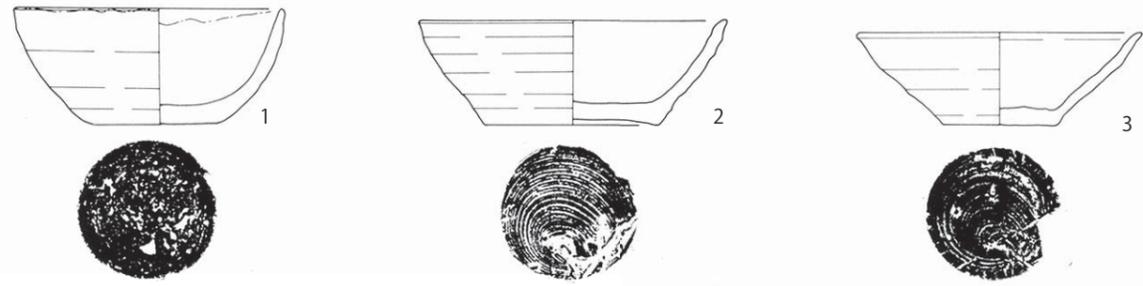
諏訪原・中道遺跡第1地点第2号住居跡出土土器



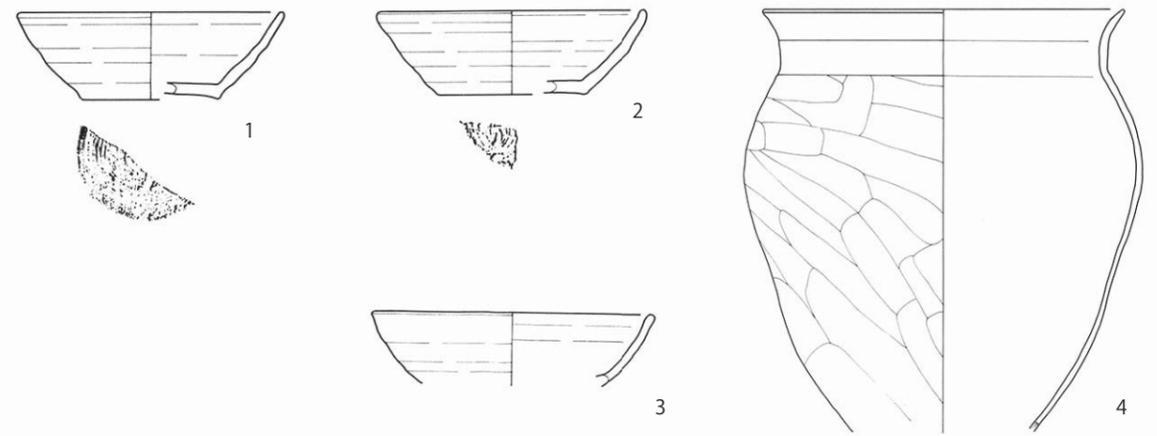
諏訪原・中道遺跡第1地点第3号住居跡出土土器



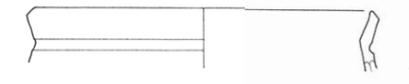
中道・岡台遺跡第5地点第1号住居跡出土土器



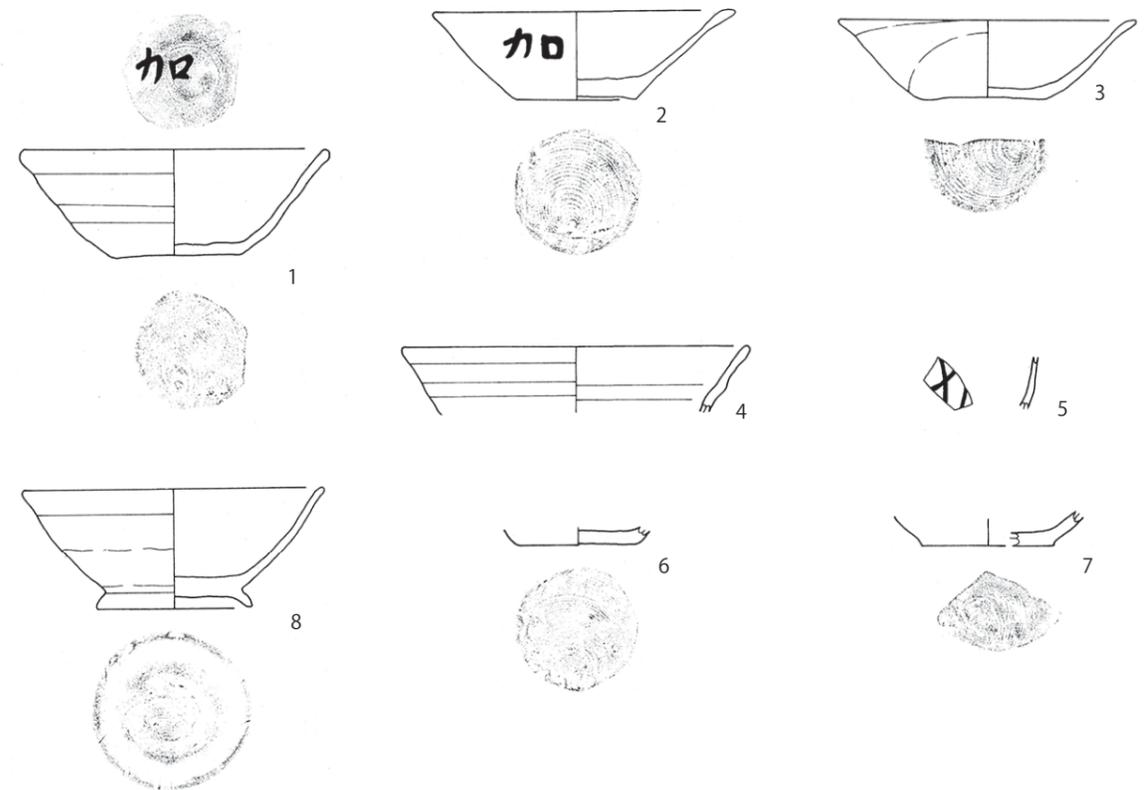
向山遺跡第2地点第1号住居跡出土土器



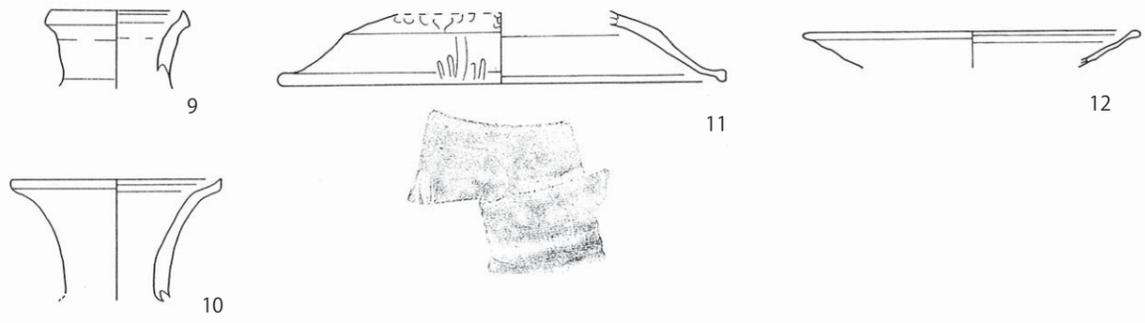
榎戸・諏訪原遺跡第1地点第1号住居跡出土土器



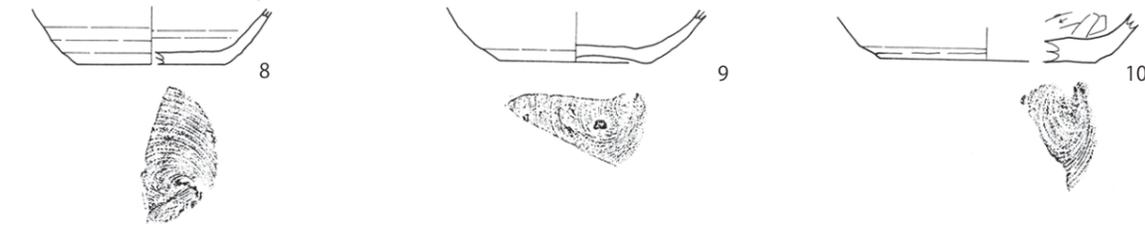
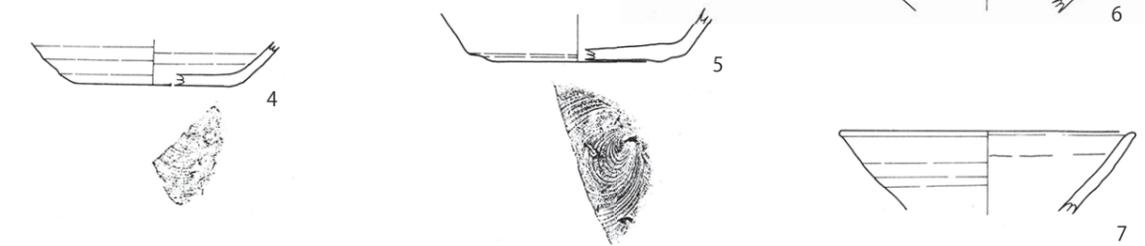
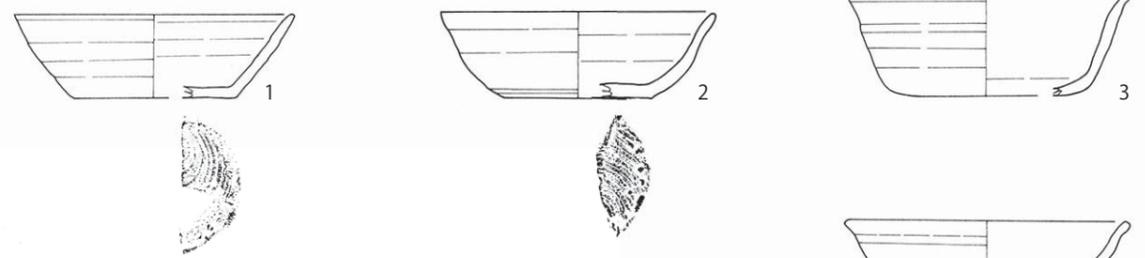
宮原・塚越遺跡第1地点第2号住居跡出土土器



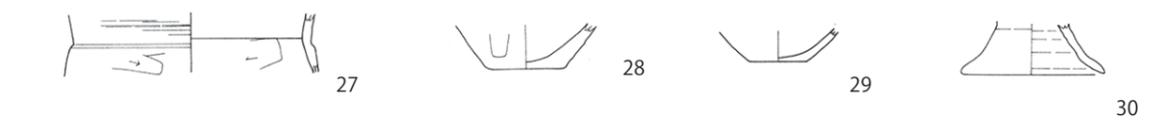
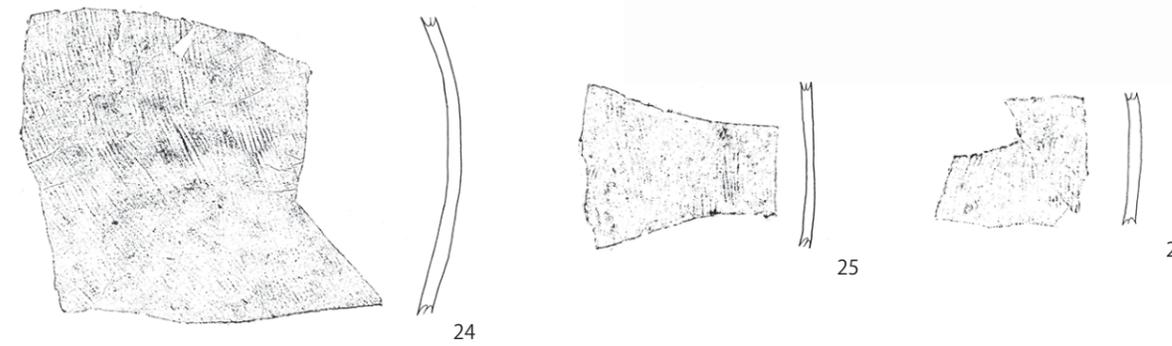
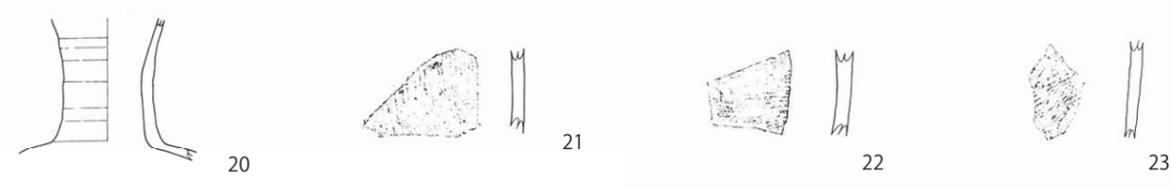
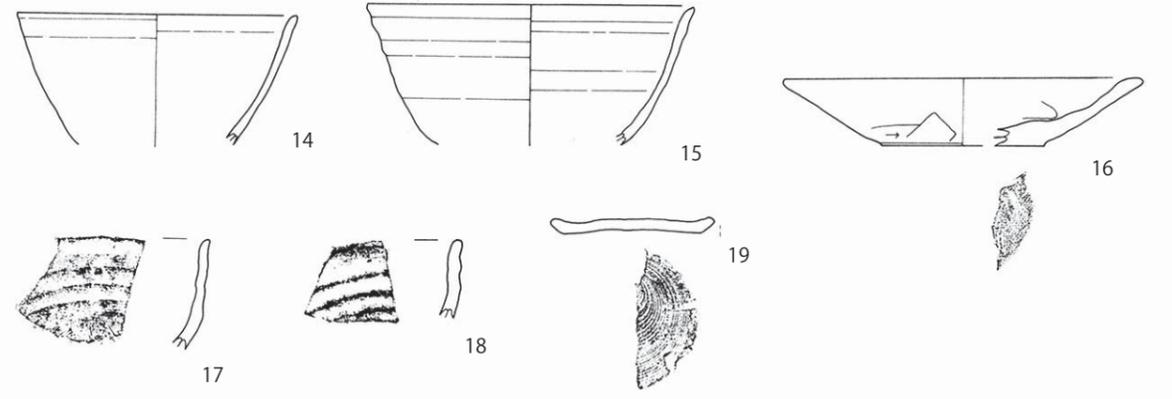
宮原・塚越遺跡第1地点第1号掘立柱建物跡出土土器 (1)



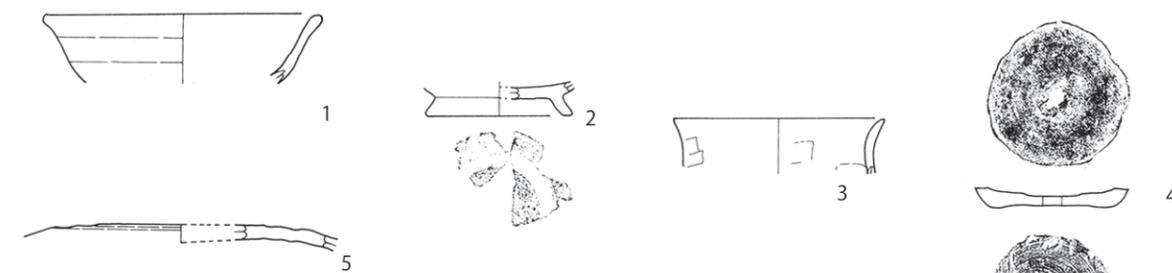
宮原・塚越遺跡第1地点第1号掘立柱建物跡出土土器(2)



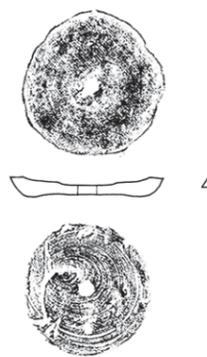
宮台・宮原遺跡第1地点第1号住居跡出土土器(1)

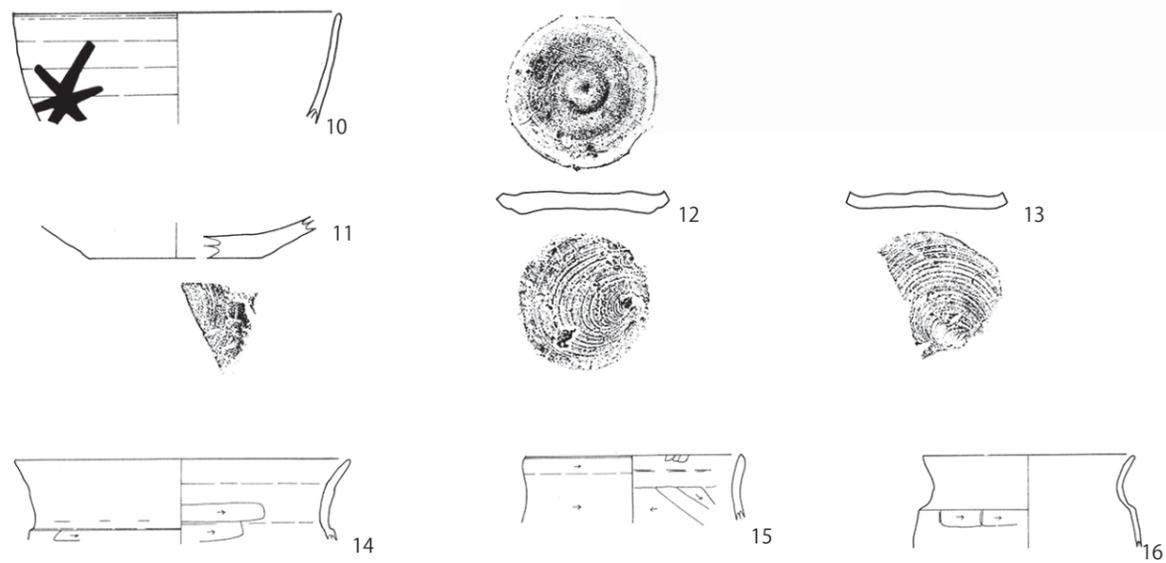
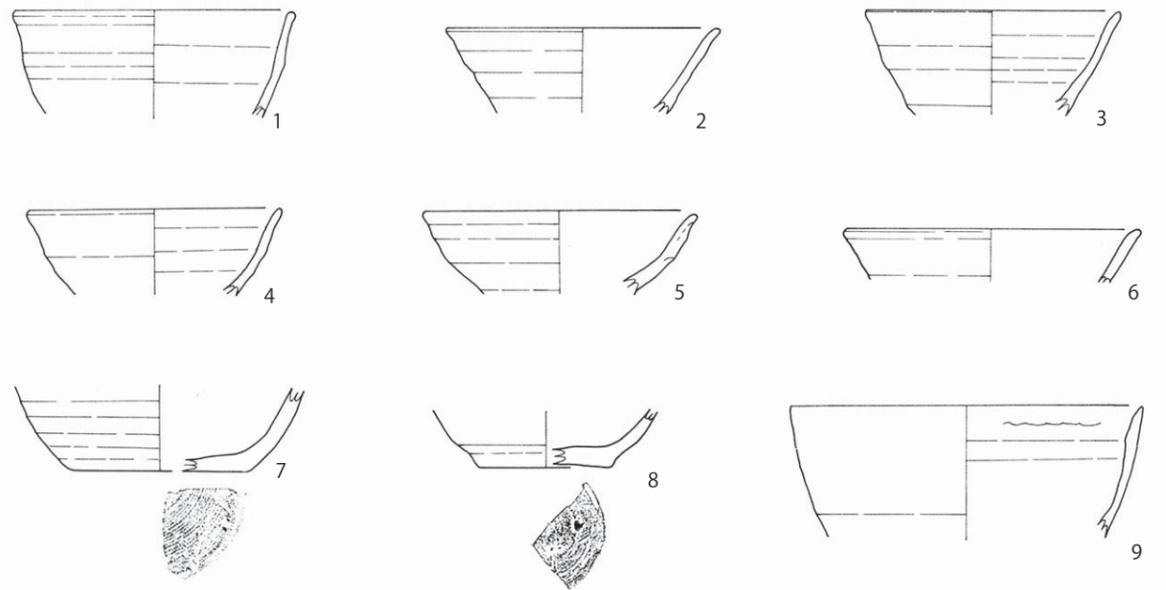


宮台・宮原遺跡第1地点第1号住居跡出土土器(2)

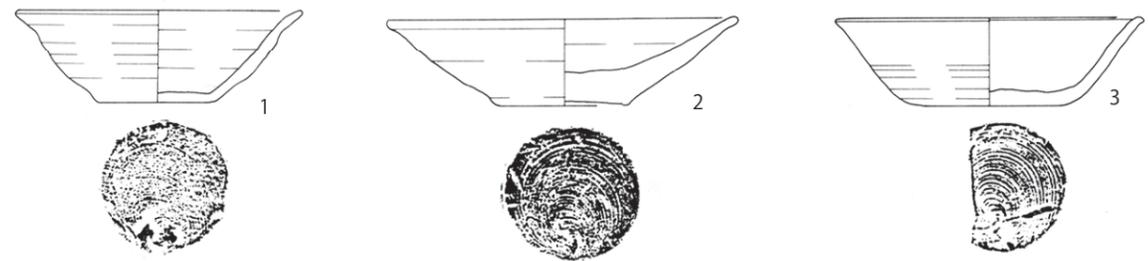


宮台・宮原遺跡第1地点第2号住居跡出土土器

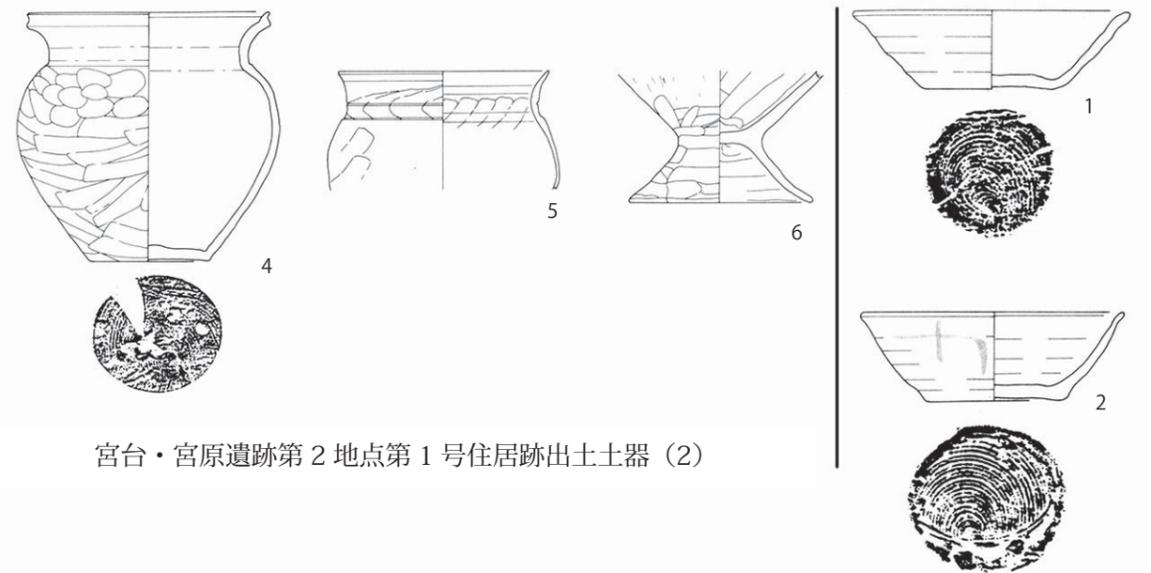




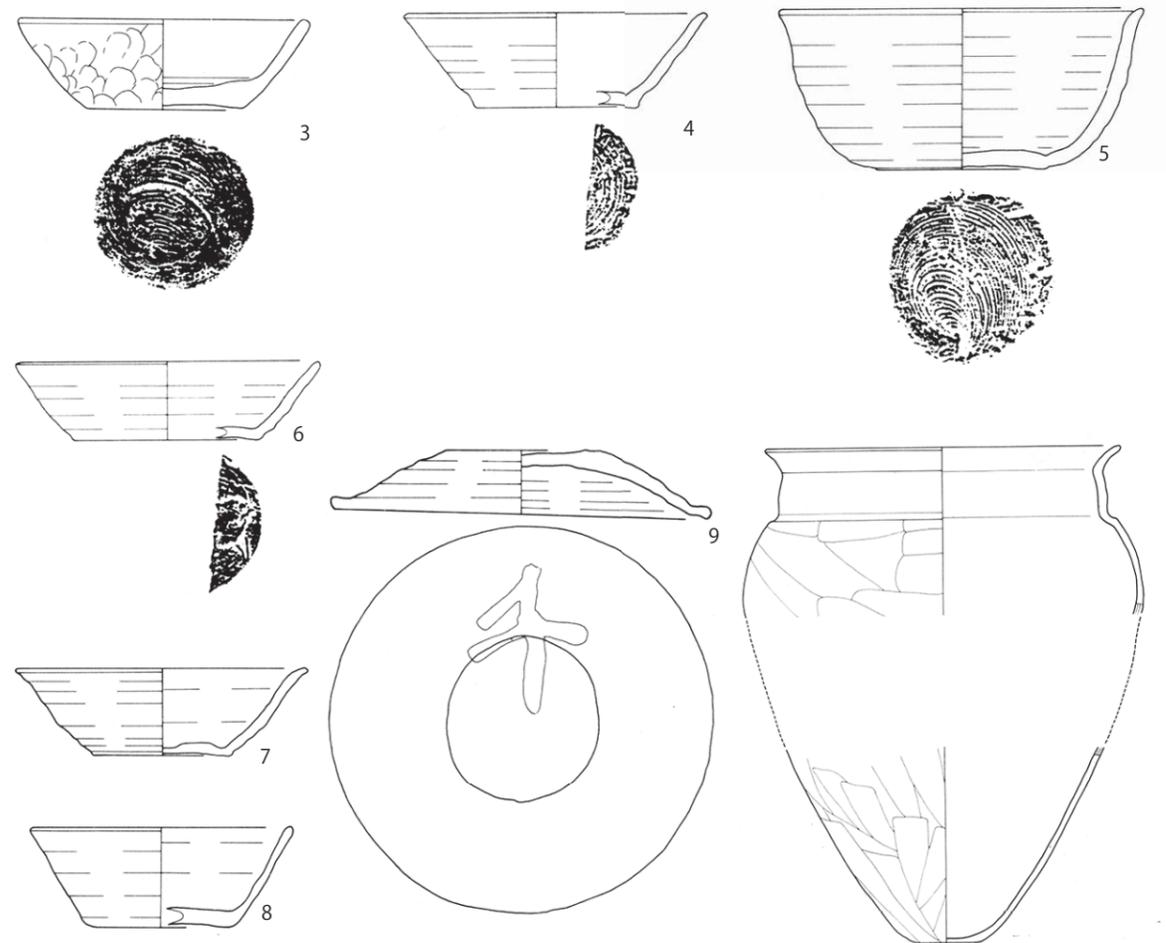
宮台・宮原遺跡第 1 地点第 3 号住居跡出土土器



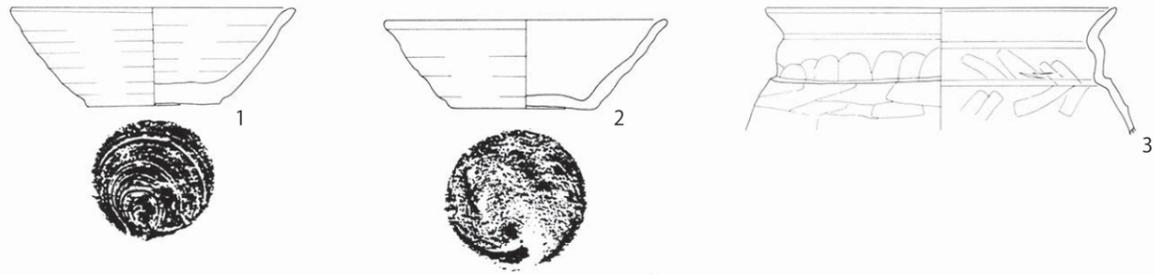
宮台・宮原遺跡第 2 地点第 1 号住居跡出土土器 (1)



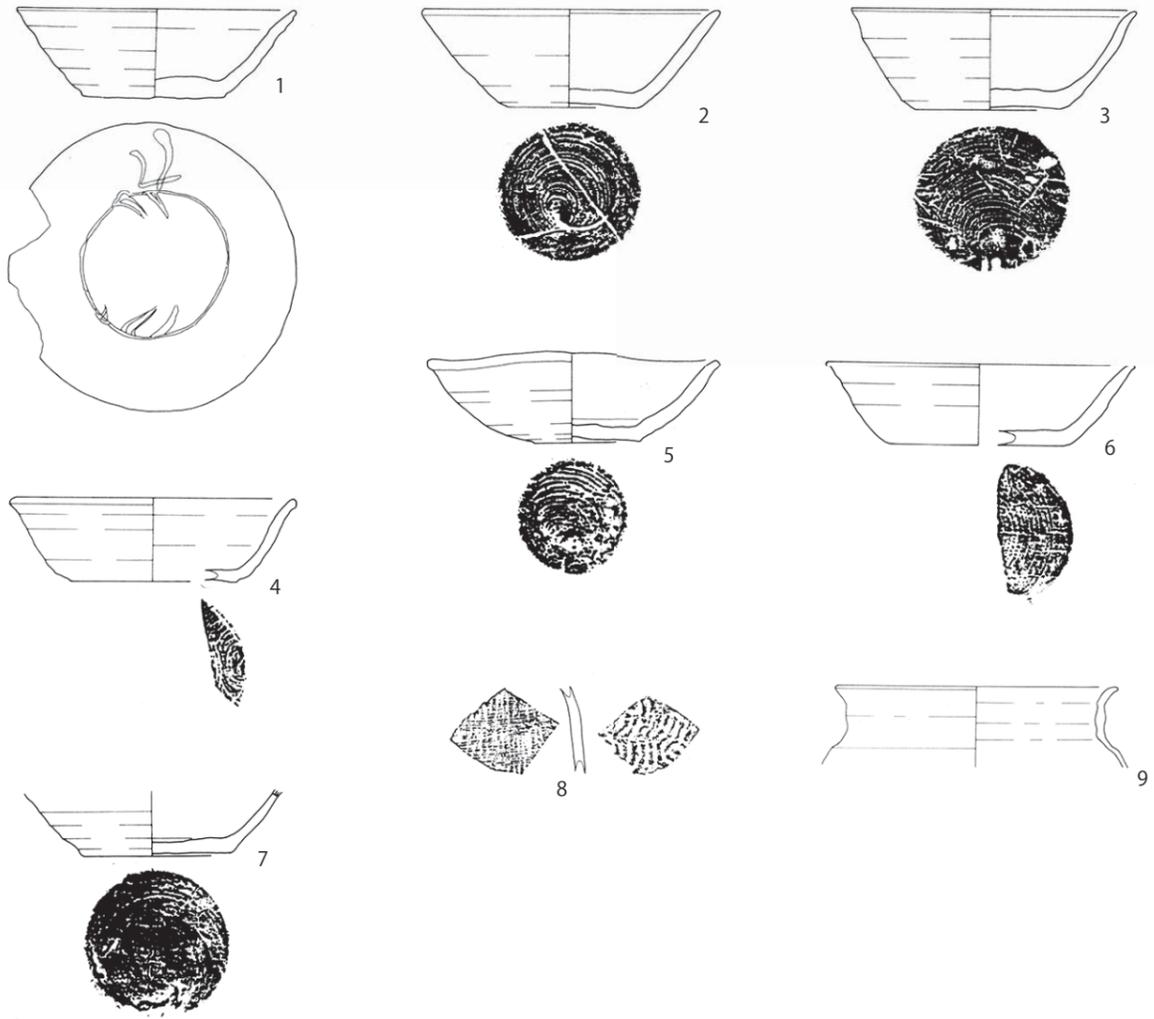
宮台・宮原遺跡第 2 地点第 1 号住居跡出土土器 (2)



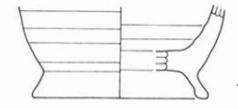
宮台・宮原遺跡第 2 地点第 7 号住居跡出土土器



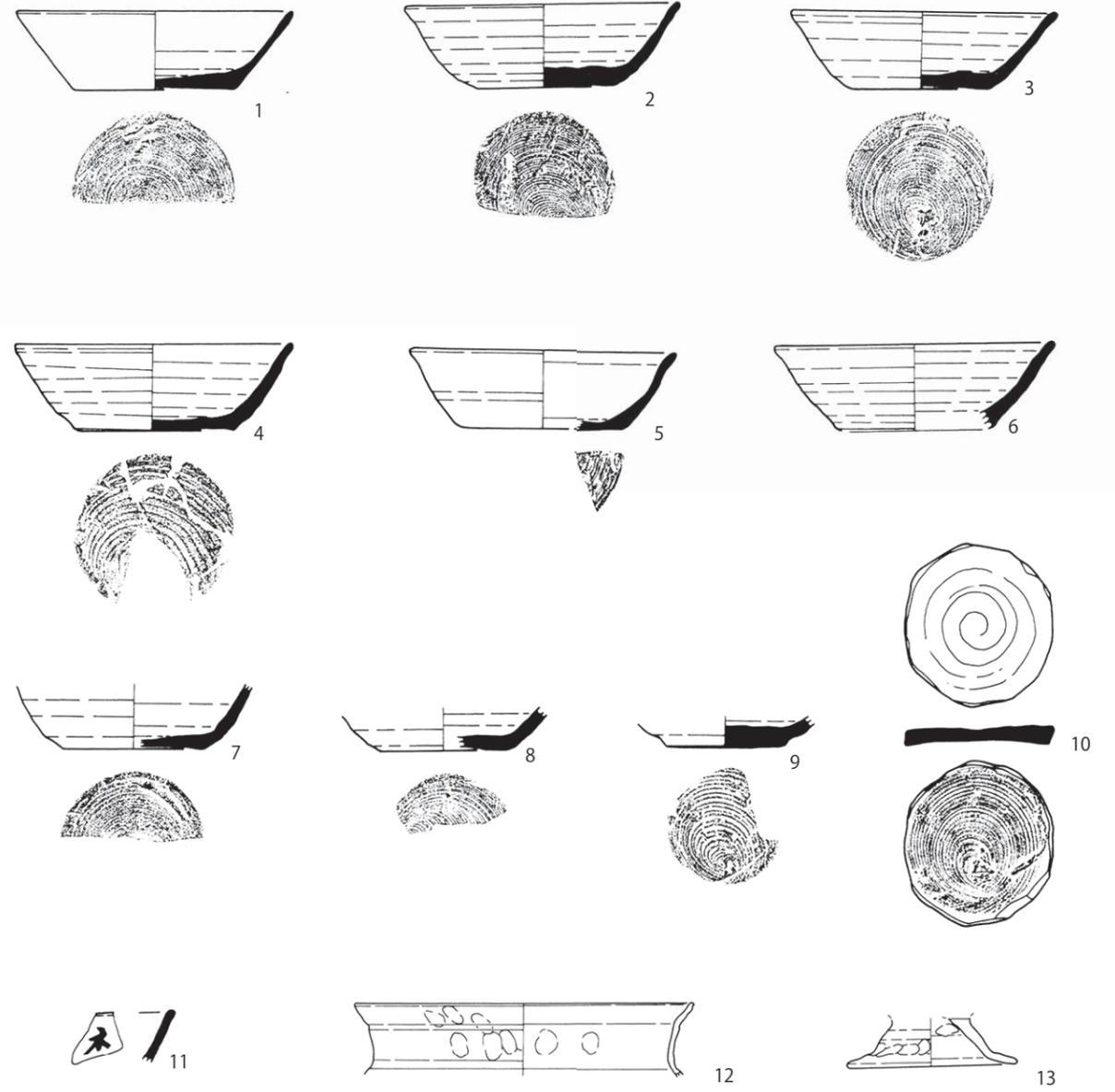
宮台・宮原遺跡第2地点第8B号住居跡出土土器



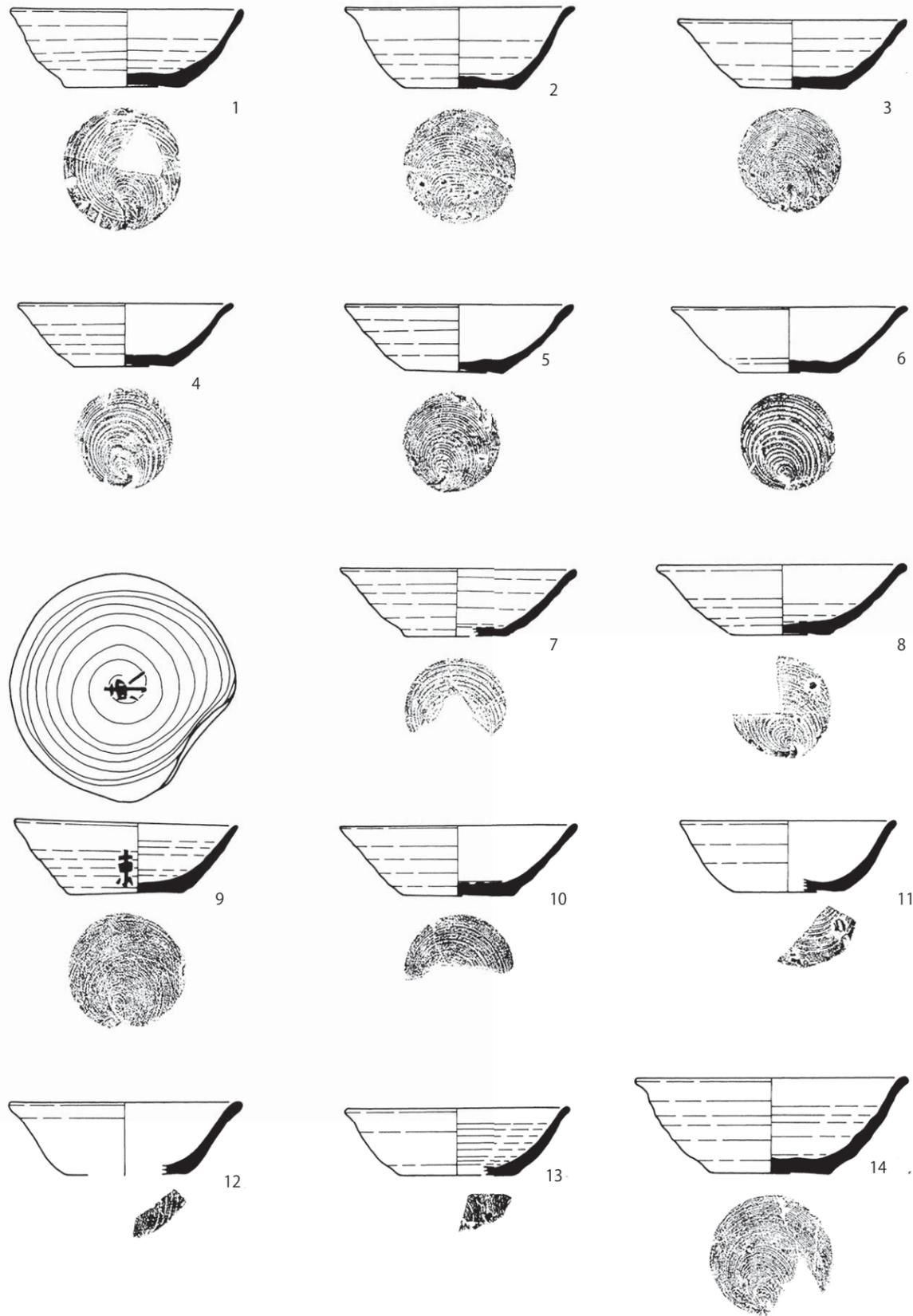
宮台・宮原遺跡第2地点第11号住居跡出土土器



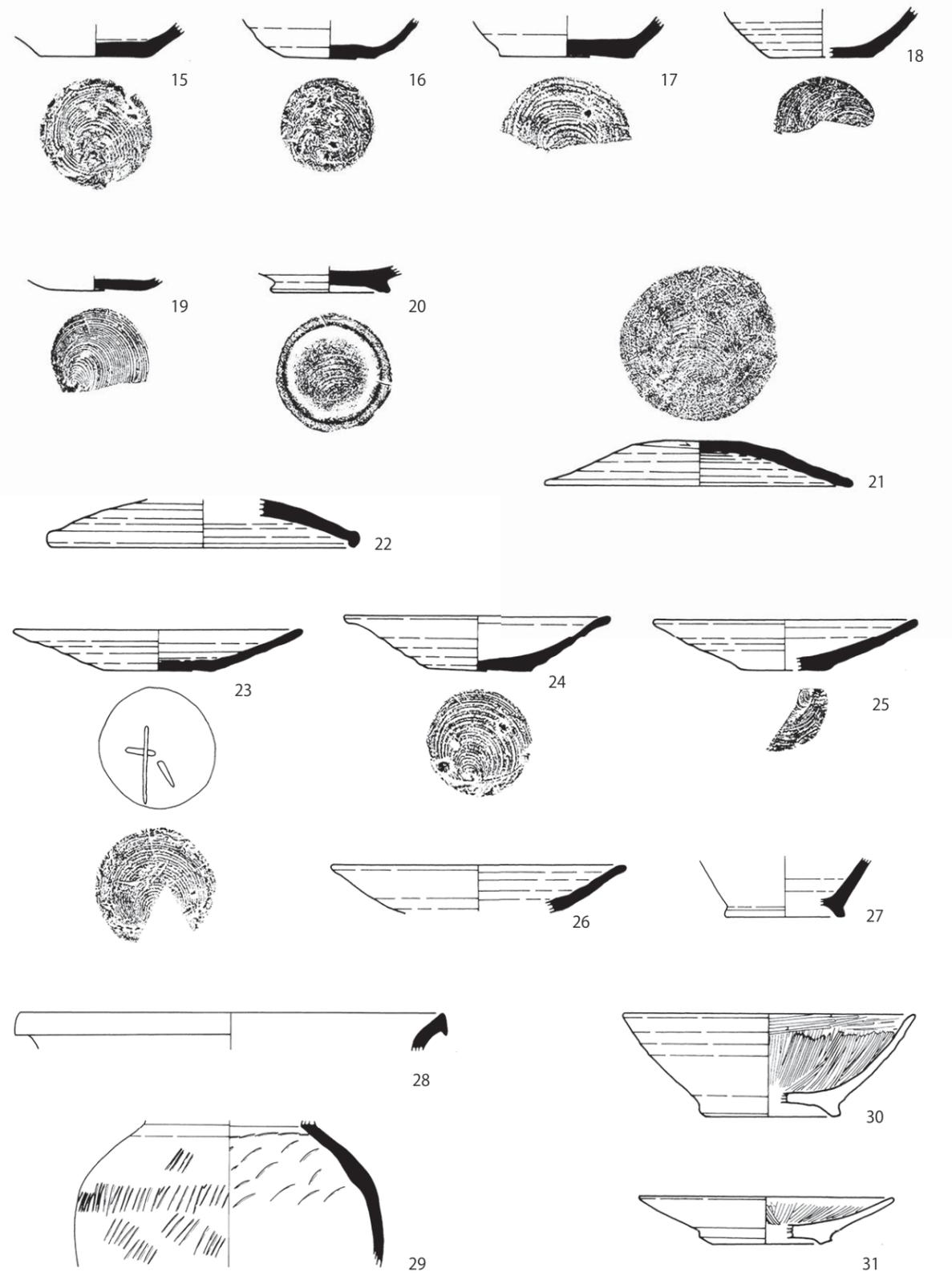
宮台・宮原遺跡第5地点第1号住居跡出土土器



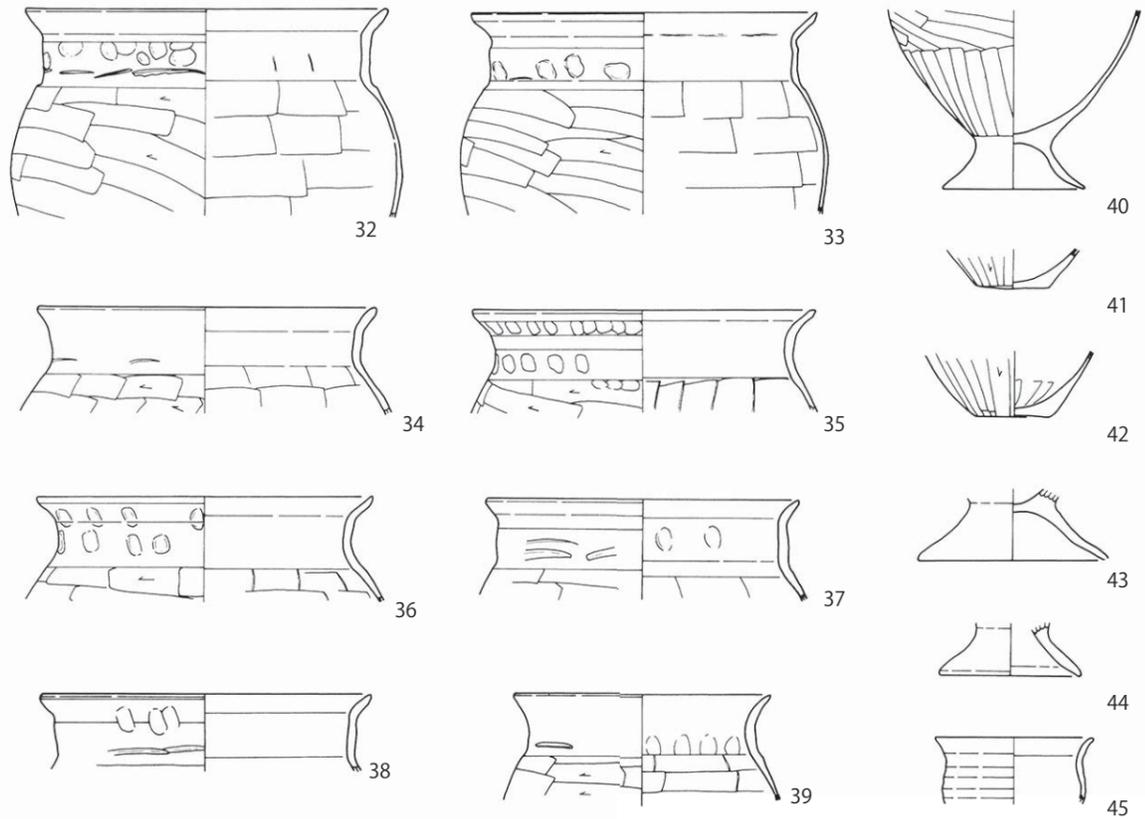
宮台・宮原遺跡第7地点第1号住居跡出土土器



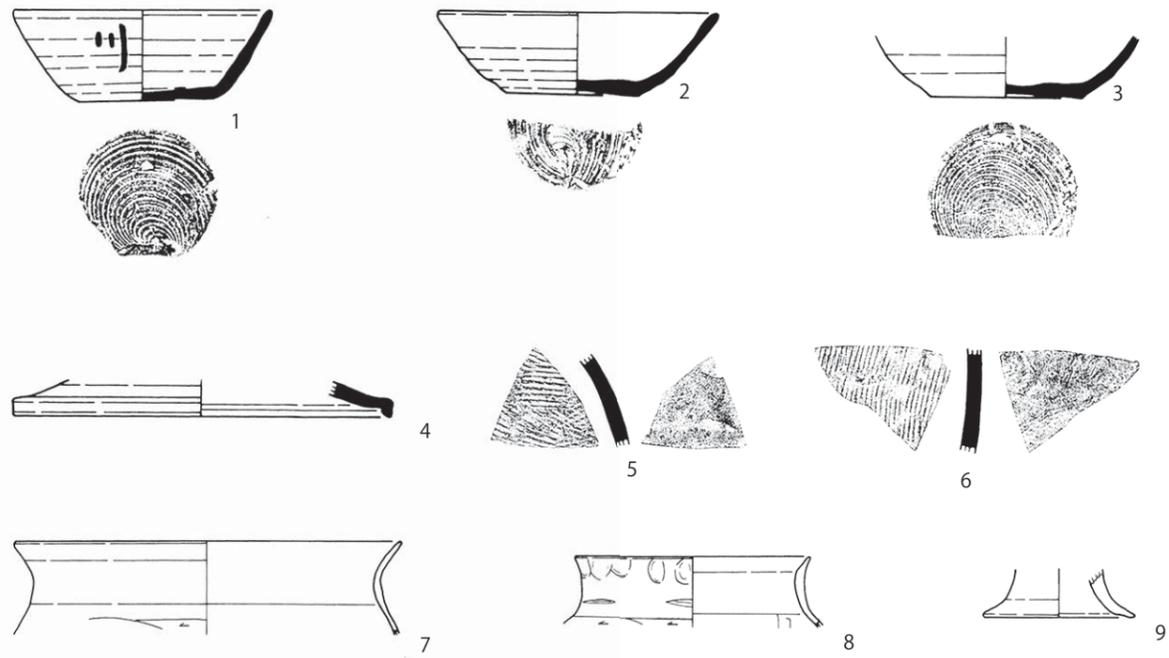
宮台・宮原遺跡第7地点第2号住居跡出土土器(1)



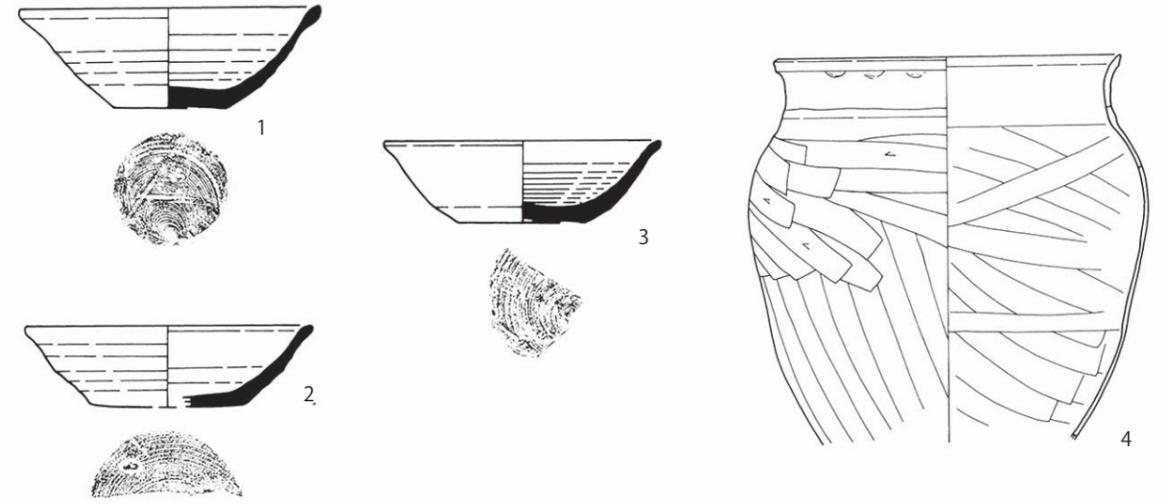
宮台・宮原遺跡第7地点第2号住居跡出土土器(2)



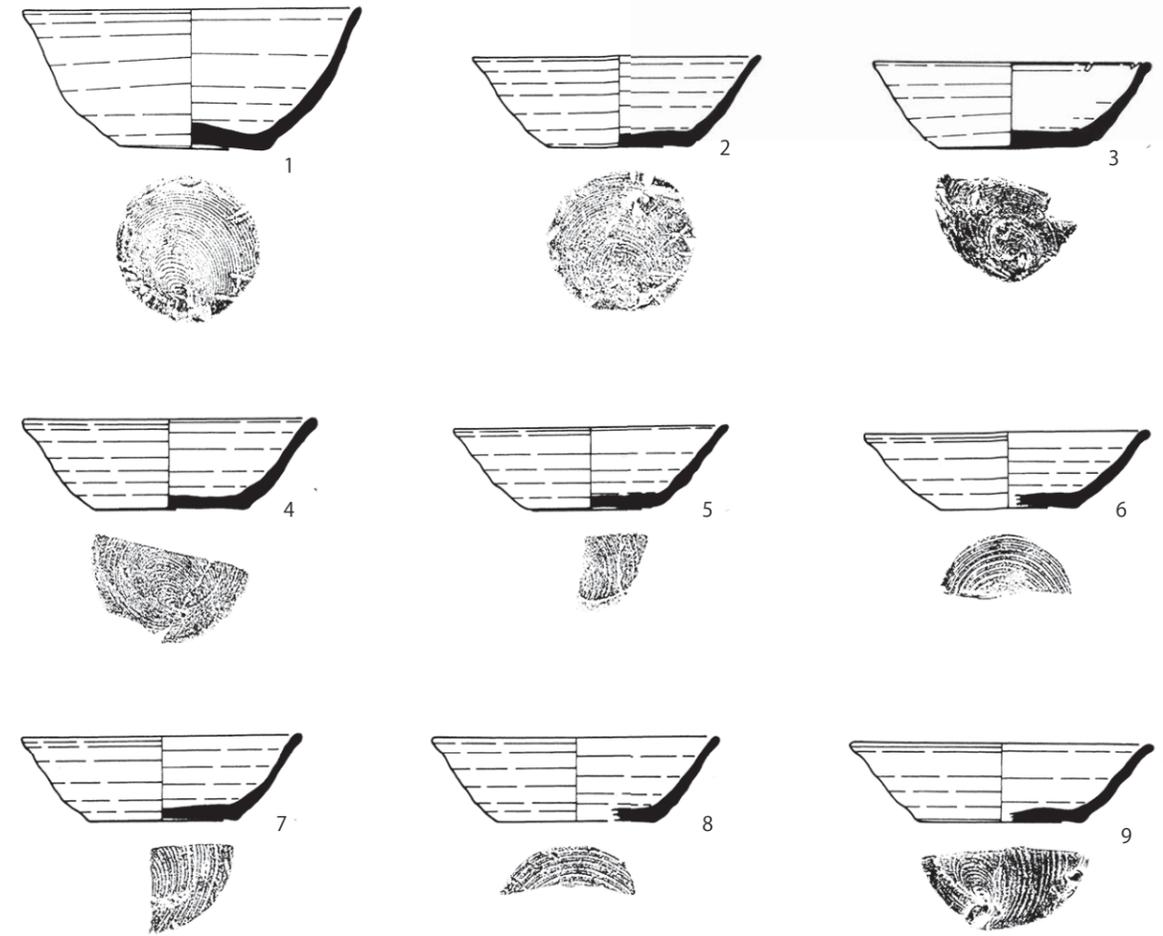
宫台・宫原遺跡第7地点第2号住居跡出土土器 (3)



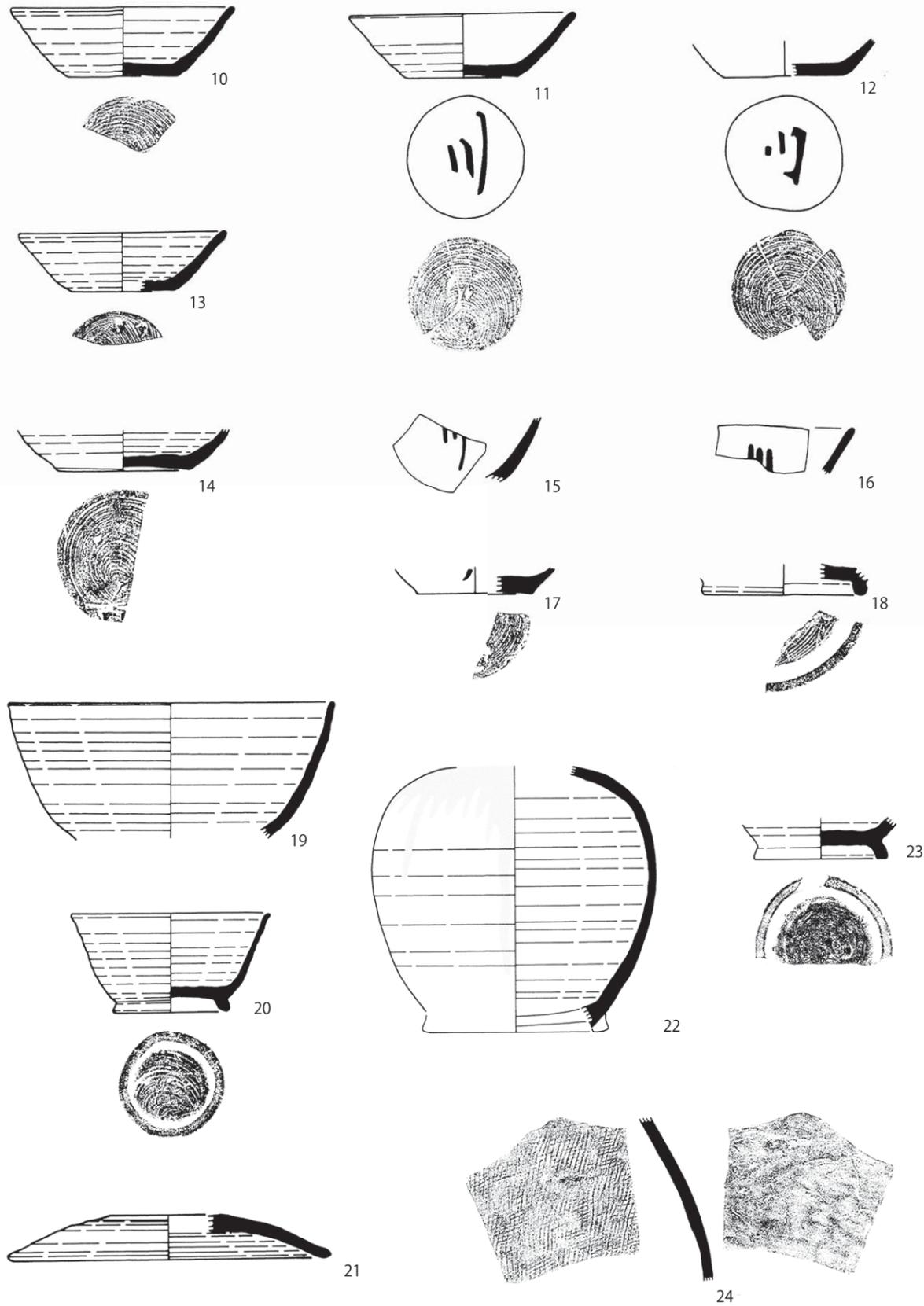
宫台・宫原遺跡第7地点第3号住居跡出土土器



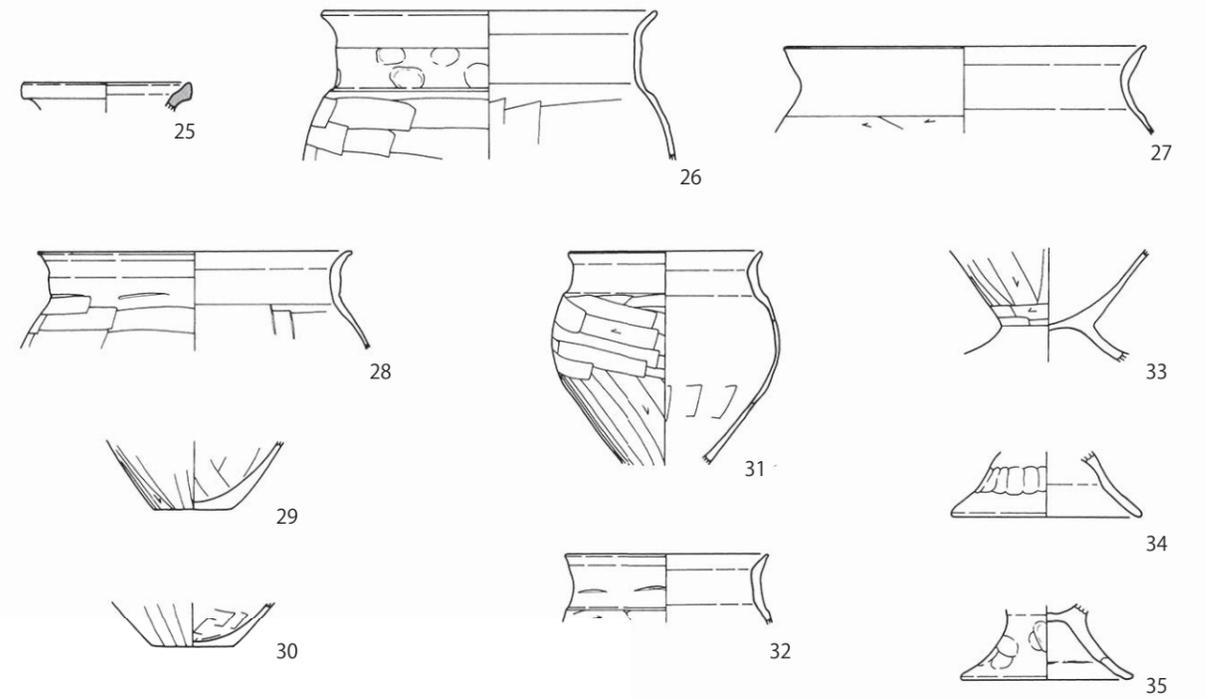
宫台・宫原遺跡第7地点第4号住居跡出土土器



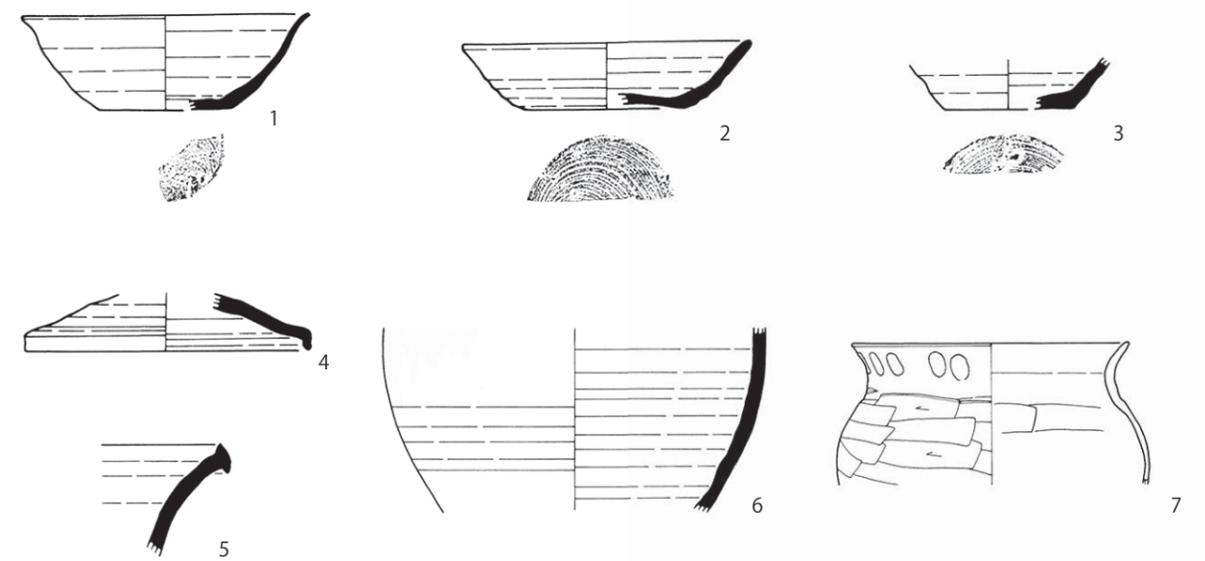
宫台・宫原遺跡第7地点第5号住居跡出土土器 (1)



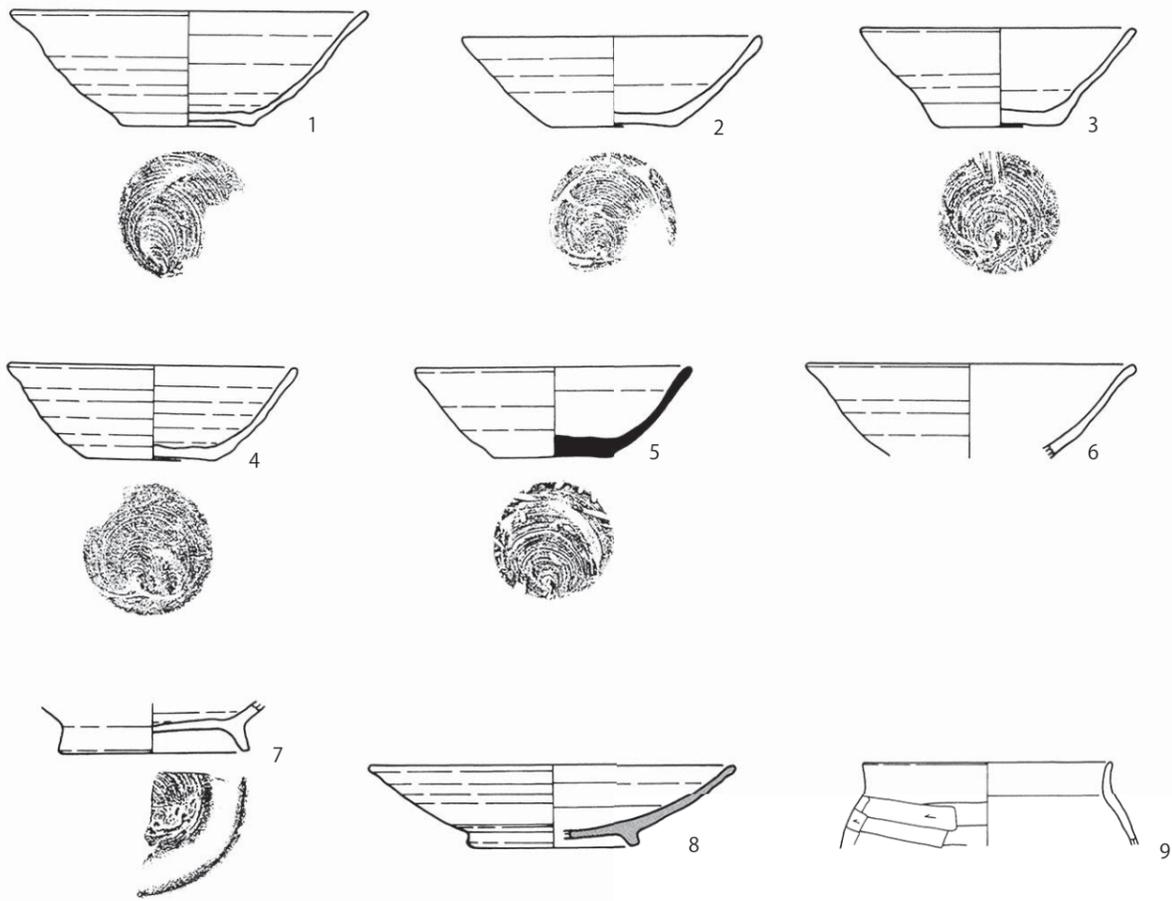
宮台・宮原遺跡第7地点第5号住居跡出土土器(2)



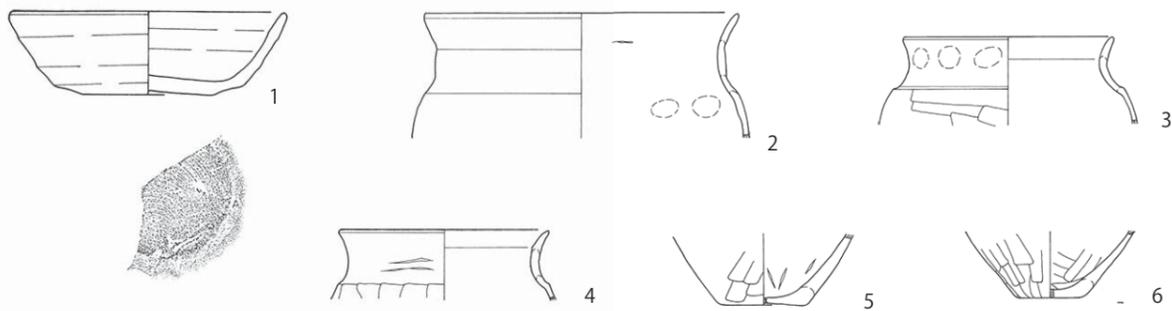
宮台・宮原遺跡第7地点第5号住居跡出土土器(3)



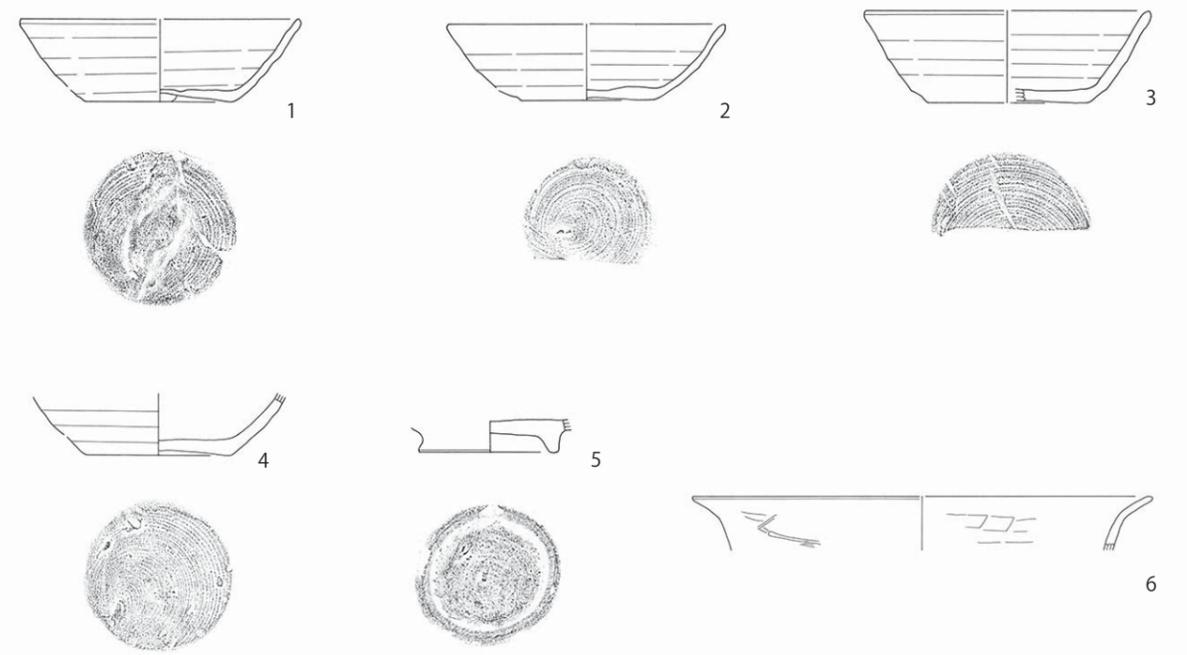
宮台・宮原遺跡第7地点第6号住居跡出土土器



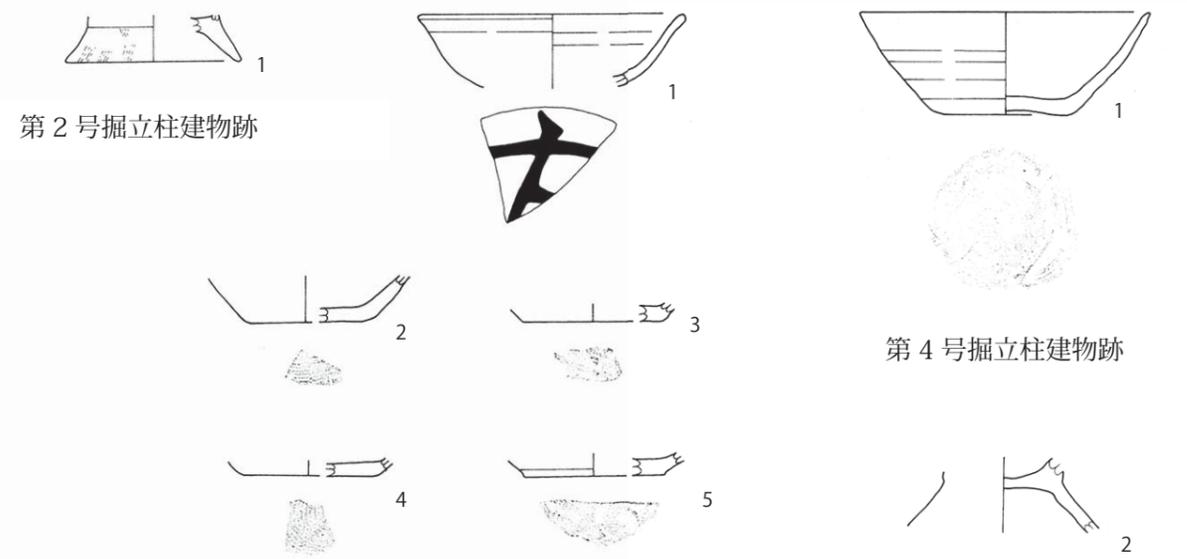
宮台・宮原遺跡第7地点第7号住居跡出土土器



宮台・宮原遺跡第8地点第1号住居跡出土土器



宮台・宮原遺跡第13地点第1号住居跡出土土器



第2号掘立柱建物跡

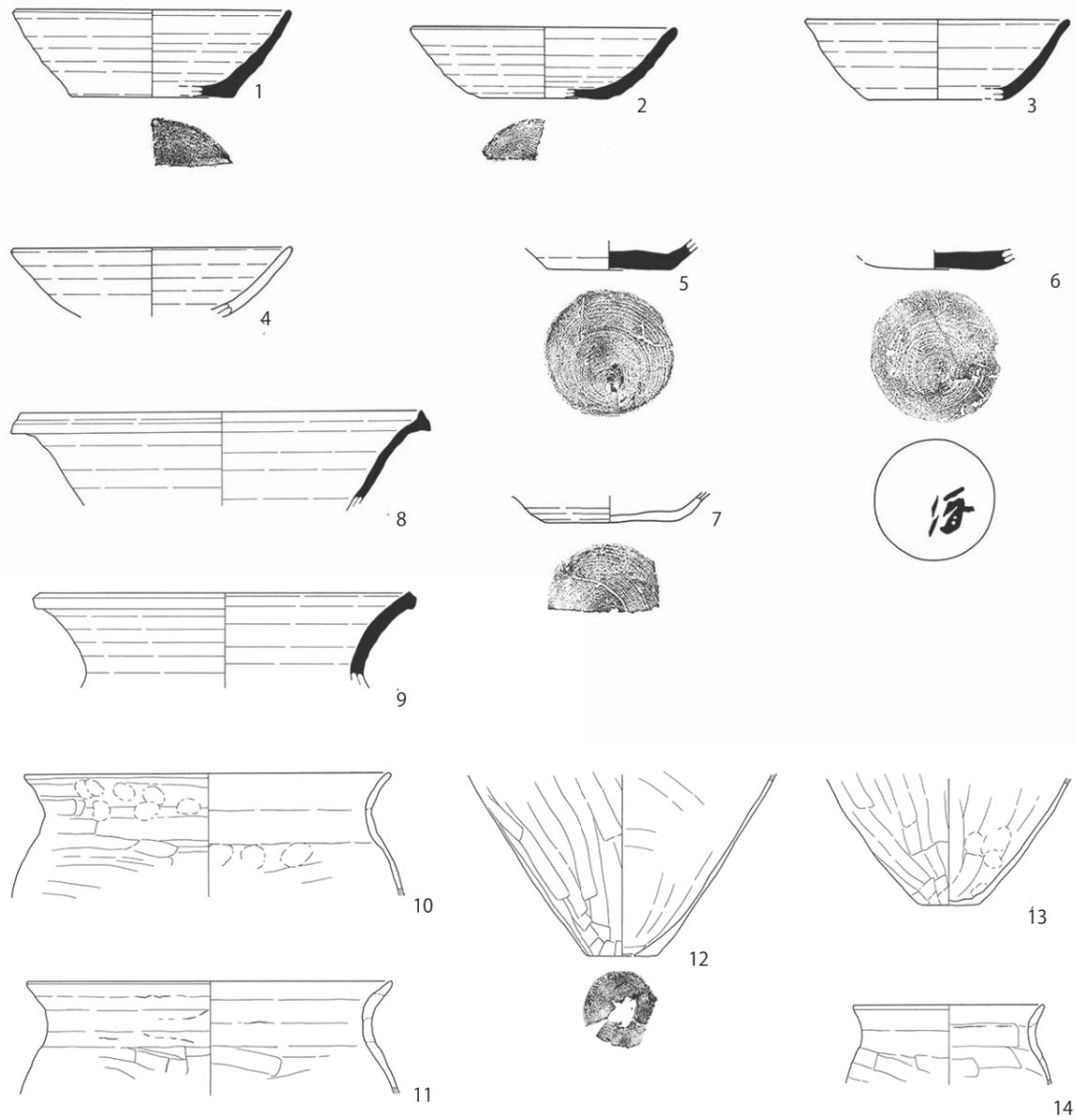
第3号掘立柱建物跡



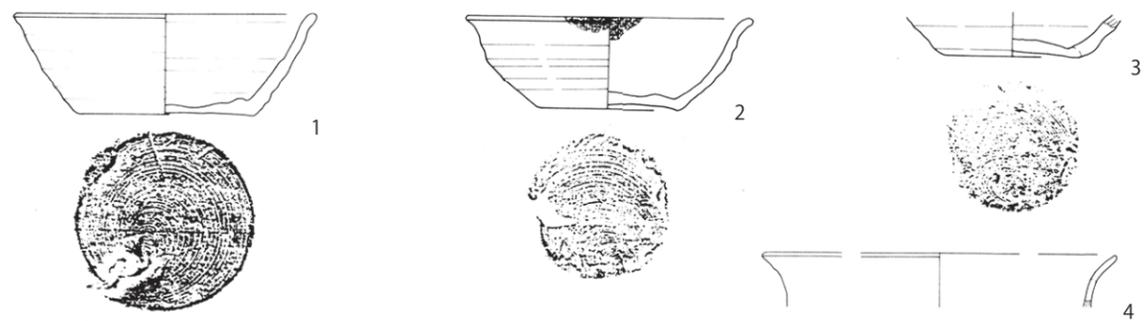
第4号掘立柱建物跡

第1号溝状遺構

稻荷山・郷戸遺跡第1地点出土土器



馬堀遺跡第 23 地点第 1 号住居跡出土土器



向原・中笹原遺跡第 1 地点第 1 号住居跡出土土器



向山遺跡第4地点E-3区第17号住居跡（奈良時代）



第2号住居跡

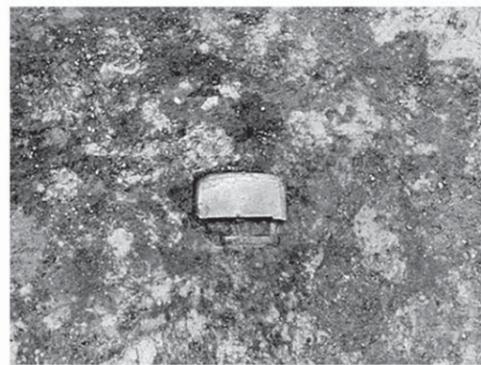


第1号掘立柱建物跡

馬堀遺跡第4地点検出遺構（平安時代）



第7号住居跡丸軋出土状況



第12号住居跡巡方出土状況

馬堀遺跡第4地点帯飾り金具出土状況



向山遺跡第4地点掘立柱建物群



調査区全景



第1号掘立柱建物跡

宮原・塚越遺跡第1地点



第1・2号掘立柱建物跡



第3・4号掘立柱建物跡

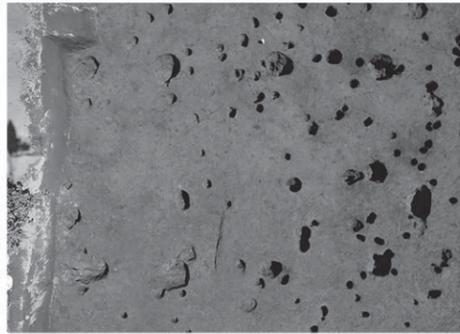
稲荷山・郷戸遺跡第1地点



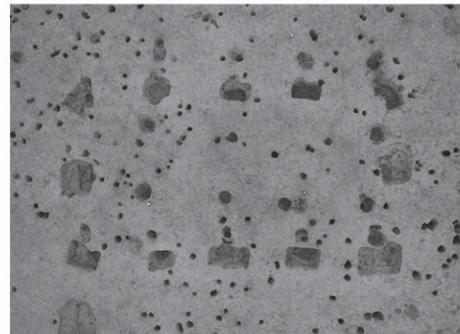
調査区全景



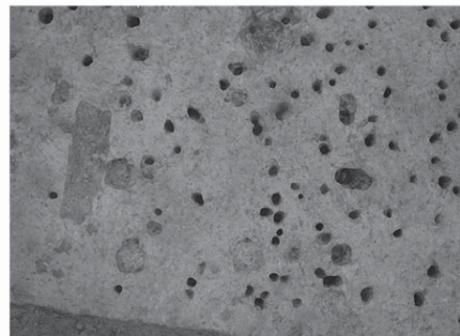
調査区全景



第 2 号掘立柱建物跡



第 3・4 号掘立柱建物跡



第 5 号掘立柱建物跡



第 1 号溝跡

稻荷山・郷戸遺跡第 10 地点



第 1 号溝跡北側



第 1 号溝跡須恵器出土状況

稻荷山・郷戸遺跡第 11 地点